



神奈川県

厚木保健福祉事務所大和センター

令和 6 年度

厚木保健福祉事務所

大和センター年報

神奈川県厚木保健福祉事務所大和センター

目 次

第1章 概 要

1 管内の概要	1
2 保健福祉事務所の概要	4

第2章 管理・企画調整業務

1 かながわ健康プラン21の推進等	19
2 各種協議会等	19
3 医 務	21
4 病院等立入検査	24
5 献血推進事業	25
6 神奈川県保健衛生表彰	26
7 人材養成	27
8 保健師業務	28
9 各種調査実施状況	31
10 健康危機管理対策の推進	31
11 災害派遣	32

第3章 保健福祉業務

1 母子保健	33
2 健康づくり・がん対策	38
3 歯科保健	40
4 栄養・食生活	49
5 小児慢性特定疾患医療費助成	56
6 母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業	56
7 介護保険	57

第4章 保健予防業務

1 精神保健福祉	59
2 認知症対策	64
3 感染症予防対策	66
4 エイズ（性感染症）予防	69
5 結核予防	70
6 指定難病等対策	73
7 臓器移植対策事業	76
8 原爆被爆者援護対策	77
9 肝臓疾患相談事業	78
10 石綿による健康被害の救済支援事業	78

第5章 環境衛生・薬事関係業務

1 環境衛生営業施設指導	79
2 生活環境施設指導	80
3 温泉施設指導	82
4 動物保護	82
5 薬事衛生施設指導	83

第6章 食品衛生業務

1 食品営業施設の監視指導	87
2 自主衛生管理の推進	92
3 食品衛生知識の普及啓発	92

第7章 研究発表等

令和6年度学会等発表	93
------------------	----

凡 例

計数のない場合	空欄
計数不明の場合	...
統計項目がありえない場合	・
比率が微小（0.05 未満）	0.0
敬 称 略	

第 1 章 概 要

1 管内の概要

(1) 管内の概況

厚木保健福祉事務所大和センター（以下、「大和センター」という。）の所管する地域は、神奈川県ほぼ中央部に位置する大和市と綾瀬市の2市で、管内の面積は、49.23km²、令和7年1月1日現在の人口は、327,160人（神奈川県人口統計調査）である。

ア 大和市の概況

大和市は、面積27.09km²で南北に細長く、丘陵起伏のほとんどない台地である。鉄道は、中央部を東西に相鉄線、南北に小田急江ノ島線、北部に東急田園都市線が走り、道路網は、主なものに国道246号線や同467号線、主要地方道丸子中山茅ヶ崎線があり、交通の利便性に恵まれている。

昭和34年2月1日に県下で14番目の市として市制が施行され、平成12年11月1日に特例市となった。

令和7年1月1日現在の人口は、244,349人で人口密度は、1km²当り9,020人であり、県下では川崎市に次いで2番目の過密都市となっている。

昭和63年3月に「大和市保健福祉センター」を設置し、市民の健康づくりや福祉活動に取り組んでいる。

イ 綾瀬市の概況

綾瀬市は、面積22.14km²、自然環境に恵まれた相模野台地に位置し、大和市、海老名市、藤沢市に接している。昭和35年頃までは、純農村地帯であったが、高度経済成長期以降は横浜まで約20km、都心へも約40kmという地理的条件から、工業団地、住宅団地が開発され急速に都市化が進み、昭和53年11月1日に県下で19番目の市として市制が施行された。

市内を横断する東名高速道路と県道藤沢座間厚木線の交点に、令和3年3月綾瀬スマートインターチェンジが設置され、物流の拠点となっている。

令和7年1月1日現在の人口は、82,811人で人口密度は、1km²当り3,740人である。

昭和59年12月に「綾瀬市保健医療センター」を設置し、市民の健康づくりの取り組みを進めてきたが、平成29年10月1日に新たに「綾瀬市保健福祉プラザ」を開所し、福祉、介護、保健、医療の連携拠点として業務を行っている。

(2) 面積・世帯数・人口等

ア 面積・世帯数・人口

	面 積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人 口	1 世帯当 り人員 (人/世帯)	人口密度 (人/km ²)	老 齢 人 口		児 童 数		
			総数 (人)			65 歳以上 (人)	人 口 比 (%)	6 歳未満	6 歳以上 18 歳未 満	計
大和市	27.09	117,266	244,349	2.08	9,020	57,582	23.6	11,078	24,240	35,318
綾瀬市	22.14	36,197	82,811	2.29	3,740	22,744	27.5	3,285	9,256	12,541
計	49.23	153,463	327,160	2.14	6,646	80,326	24.6	14,363	33,496	47,859
時 点 出 所	R7. 1 .1(神奈川県人口統計調査結果)					R7.1.1 (神奈川県年齢別人口 統計調査結果)		R7.1.1 (市役所ホームページ住民 基本台帳年齢別人口)		

イ 人口の推移 (各年 1 月 1 日現在)

(人)

	30 年	31 年	R 2 年	R 3 年	R 4 年	R 5 年	R 6 年	R 7 年
大和市	235,378	235,816	237,894	239,644	241,583	243,067	243,624	244,349
綾瀬市	84,250	84,307	84,484	83,745	83,304	83,235	82,959	82,811
計	319,628	320,123	322,378	323,389	324,887	326,302	326,583	327,160

* 神奈川県人口統計調査結果

ウ 65 歳以上人口の推移 (各年 1 月 1 日現在)

(人)

	30 年	31 年	R 2 年	R 3 年	R 4 年	R 5 年	R 6 年	R 7 年
大和市	55,922	56,565	57,205	56,802	57,078	57,190	57,440	57,582
割合	23.9%	24.1%	24.2%	23.7%	23.6%	23.5%	23.6%	25.4%
綾瀬市	22,746	23,008	23,166	23,174	23,214	23,007	22,837	22,744
割合	27.1%	27.4%	27.6%	27.7%	27.9%	27.6%	27.5%	27.5%
計	78,668	79,573	80,371	79,976	80,292	80,197	80,277	80,326
割合	24.8%	25.0%	24.9%	24.7%	24.7%	24.6%	24.6%	24.6%

* 神奈川県年齢別人口統計調査結果

(3) 保健・医療・福祉施設総括表

ア 医療関係施設の状況（令和 7 年 3 月 31 日現在）

	医療施設等					病床	
	病 院	一 般 診療所	歯 科 診療所	助産所	歯科 技工所	病 院	一 般 診療所
大和市	9	177	139	6	33	1,607	39
綾瀬市	1	31	24	3	9	182	29
総 数	10	208	163	9	42	1,789	68

	薬事施設		施術所	
	薬 局	医薬品 販売業	あんま・ はり・灸	柔道整復
大和市	121	64	187	107
綾瀬市	22	20	34	17
総 数	143	84	221	124

(4) 外国籍県民の概況（国籍別外国人登録者の推移）

		総 数	中国	ベトナム	韓国	フィリピン	ネパール	ブラジル	インドネシア	インド	その他
神奈川県	R 6 年	260,163	74,592	34,186	26,770	25,574	11,928	8,803	8,215	7,312	62,783
	R 7 年	284,889	79,248	39,479	26,847	26,673	15,544	9,046	10,548	7,382	70,122
管内計	R 6 年	12,733	1,911	2,841	830	1,176	267	905	414	107	4,282
	R 7 年	13,919	1,988	3,234	836	1,210	450	916	476	106	4,703
大和市	R 6 年	8,045	1,628	1,545	685	963	246	292	271	89	2,326
	R 7 年	8,716	1,685	1,779	699	997	425	301	291	86	2,453
綾瀬市	R 6 年	4,688	283	1,296	145	213	21	613	143	18	1,956
	R 7 年	5,203	303	1,455	137	213	25	615	185	20	2,250

* 数字は令和 7 年 1 月 1 日現在

* 神奈川県国際課：外国人登録者統計：市(区)町村別主要国・地域別外国人数

2 保健福祉事務所の概要

(1) 沿革

昭和28年 1 月29日	大和市下鶴間 3166 番地に藤沢保健所大和出張所として発足、 所管区域は大和町
昭和31年11月 1 日	保健所法に基づく支所に昇格、藤沢保健所大和支所と改称
昭和34年 2 月 1 日	大和町が大和市となり、所管区域が 1 市となる。
昭和40年 4 月 1 日	大和市中心 1 丁目 5 番 26 号に庁舎新築 保健所に昇格し、大和保健所と改称、所管区域が大和市、綾瀬 町の 1 市 1 町となる。
昭和45年 7 月16日	次長制の施行、保健婦室の設置
昭和47年 3 月31日	犬管理センター設置により、犬拘留所廃止
昭和53年11月 1 日	綾瀬町が市となり、所管区域が 2 市となる。
昭和58年 6 月 1 日	保健婦室が、健康指導課となる。
昭和61年 4 月 1 日	試験検査部門を厚木保健所に統合
平成 4 年 4 月 1 日	衛生課を環境衛生課、食品衛生課に分割
平成 9 年 4 月 1 日	組織変更により大和保健所と県央地区行政センター福祉部が 統合し、大和保健福祉事務所となる。また、健康指導課を廃止 し、保健福祉課を新設した。
平成20年 4 月 1 日	管理課が、管理企画課となる。
平成 26 年 4 月 1 日	保健福祉事務所の再編・統合により名称を見直し、厚木保健福 祉事務所大和センターとなる。

(2) 歴代の保健所長・保健福祉事務所長

大和保健所所長

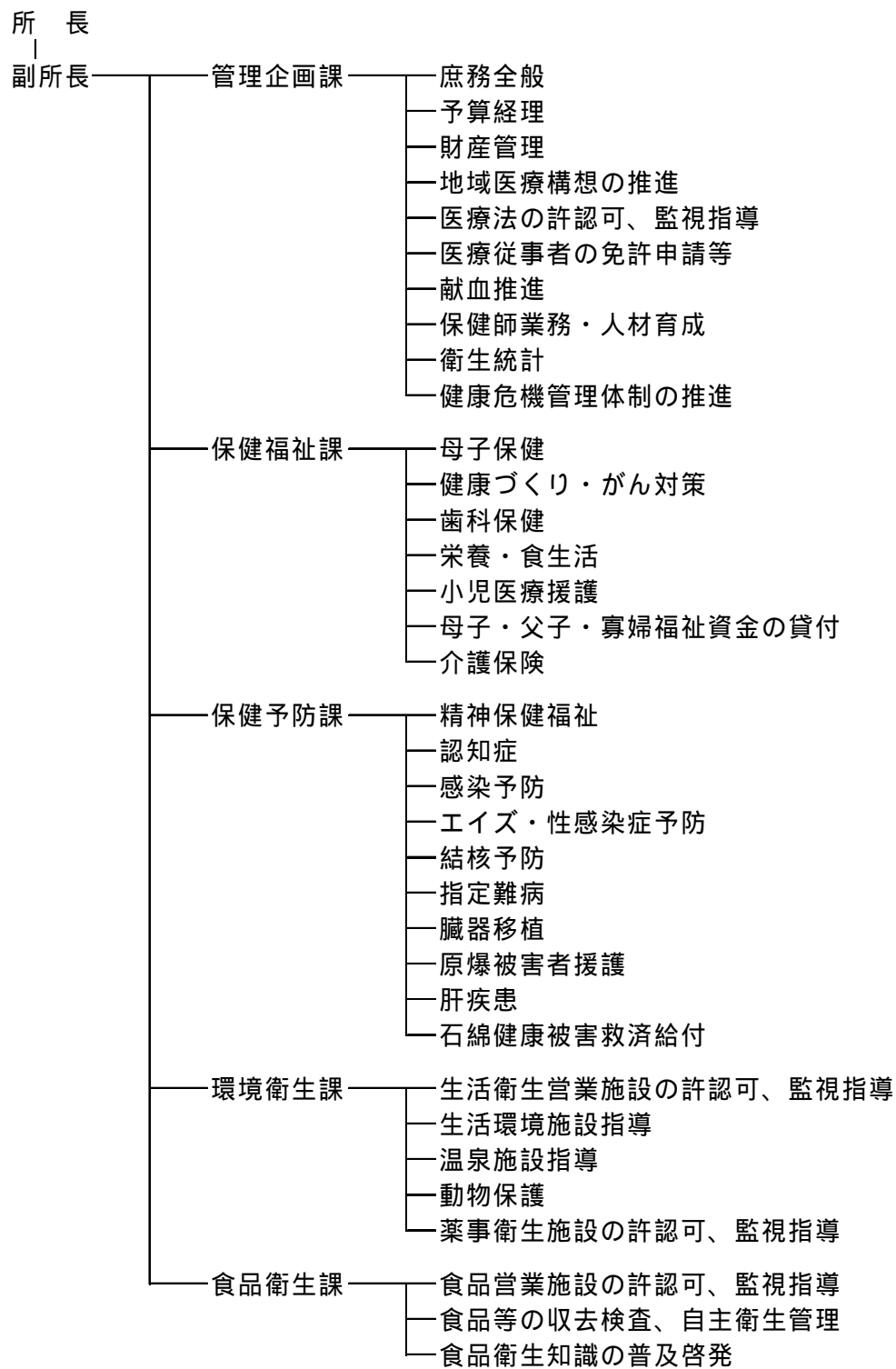
初代	前田 実	(昭和40年 4月 1日～昭和42年 8月 9日)
2代	鈴木 孝次	(昭和42年 8月10日～昭和46年 6月 1日)
3代	高橋 賢従	(昭和46年 6月 2日～昭和47年 9月30日)
4代	榊原 高尋	(昭和47年10月 1日～昭和49年 7月31日)
5代	上田 春人	(昭和49年 8月 1日～昭和51年7月15日)
6代	佐久間 正美	(昭和51年 7月16日～昭和55年 7月31日)
7代	山本 頼祇	(昭和55年 8月 1日～昭和56年 5月31日)
8代	中倉 千鶴子	(昭和56年 6月 1日～昭和58年 5月31日)
9代	笹川 洋之助	(昭和58年 6月1日～昭和62年 5月31日)
10代	風戸 計民	(昭和62年 6月 1日～平成 3年 3月31日)
11代	内藤 佳次	(平成 3年 4月 1日～平成 3年 5月31日)
12代	村上 賢二	(平成 3年 6月 1日～平成 5年 3月31日)
13代	堀井 昌子	(平成 5年 4月 1日～平成 9年 3月31日)

大和保健福祉事務所所長、厚木保健福祉事務所大和センター所長

初代	堀井 昌子	(平成 9年 4月1日～平成11年 5月31日)
2代	西平 浩一	(平成11年 6月1日～平成13年 3月31日)
3代	有田 禎二	(平成13年 4月1日～平成15年 3月31日)
4代	鈴木 仁一	(平成15年 4月1日～平成16年 3月31日)
5代	山徳 みゑ	(平成16年 4月1日～平成18年 3月31日) 厚木 HWC 兼務
6代	岡部 英男	(平成18年 4月1日～平成19年 3月31日) 厚木 HWC 兼務
7代	長谷川 嘉春	(平成19年 4月1日～平成20年 3月31日)
8代	河西 悦子	(平成20年 4月1日～平成20年 8月31日) 厚木 HWC 兼務
9代	牧野 ゆり子	(平成20年 9月1日～平成24年 3月31日)
10代	中澤 よう子	(平成24年 4月1日～平成25年 3月31日)
11代	中井 信也	(平成25年 4月1日～令和 3年 3月31日)
12代	大久保 久美子	(令和 3年 4月1日～令和 5年 3月31日)
13代	西海 昇	(令和 5年 4月1日～)

厚木 HWC は、「厚木保健福祉事務所」の略称

(3) 機構及び所管事務 (令和 6 年 4 月 1 日現在)



(4) 職員の配置状況 (令和 6 年 4 月 1 日現在)

	一 般 事 務 職	福 祉 職	医 師	歯 科 衛 生 士	管 理 栄 養 士	保 健 師	狂 犬 病 予 防 員	衛 生 監 視 員	診 療 放 射 線 技 師	電 話 交 換 職	小 計	再 任 用 職 員	臨 時 的 任 用 職 員	会 計 年 度 任 用 職 員	総 数
所 長			1								1				1
副 所 長	1										1				1
管理企画課	4					1				1	6	2		2	10
保健福祉課	1			1	2	4					8			3	11
保健予防課	2	3	4			9			1		19	2		7	28
環境衛生課							1	3			4				4
食品衛生課								7			7			1	8
合 計	8	3	5	1	2	14	1	10	1	1	46	4		13	63

(5) 施設の現況

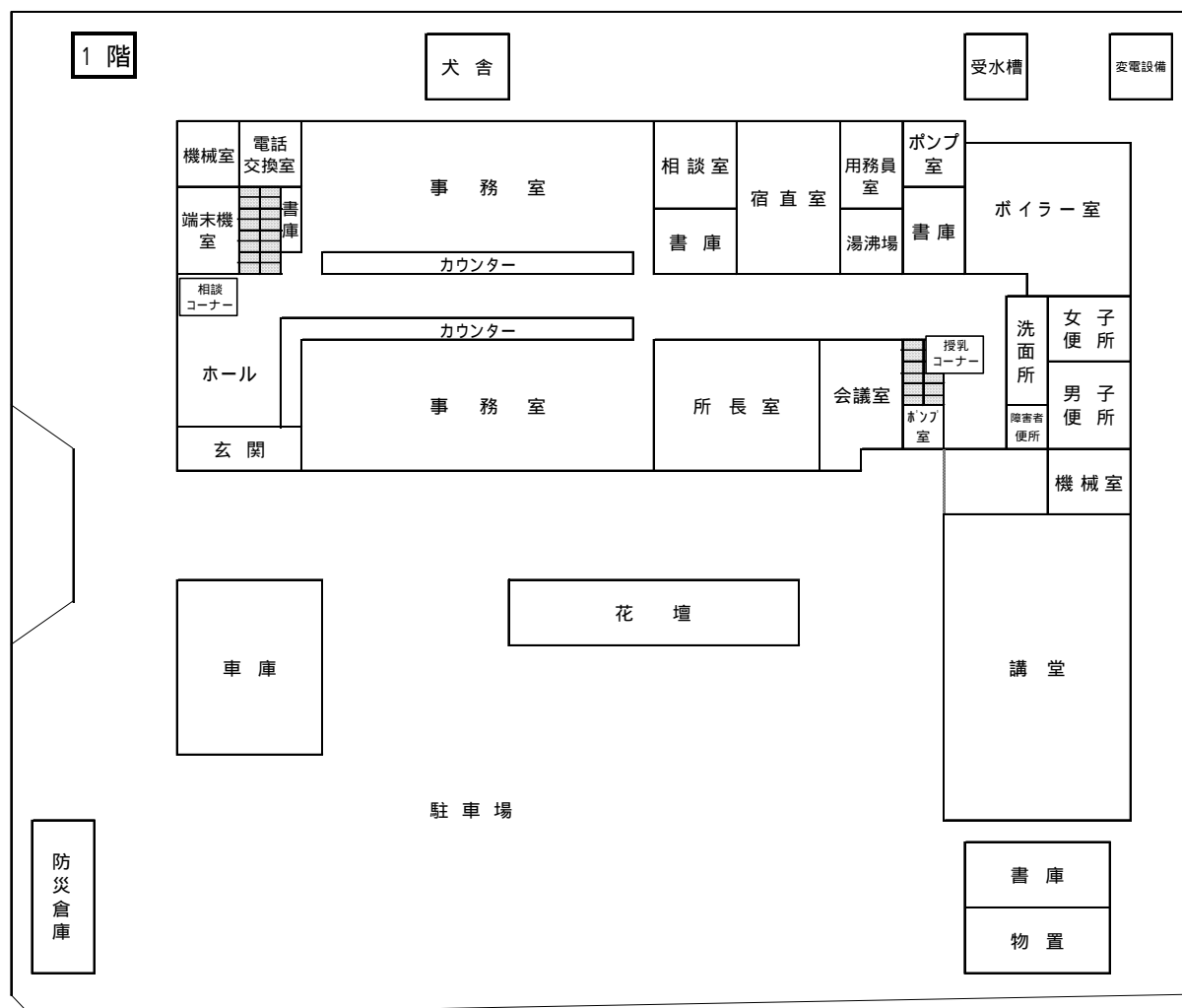
ア 土 地

用 途	所 在 地	面積m ²	所有区分	所有年月日
庁 舎 敷 地	大和市中心 1 丁目 5 番 26 号	2,398.50	県 有	昭和 40 年 9 月 6 日

イ 建 物

用 途	面積m ²	構 造	所有区分	取得年月日
庁 舎	1,342.47	R C 造 2 階建	県 有	昭和 40 年 3 月 31 日
書庫及び倉庫	36.96	鉄筋平屋	県 有	昭和 44 年 7 月 18 日
犬 舎	7.04	コンクリートブロック平屋	県 有	昭和 44 年 7 月 18 日
計	1,386.47			

ウ 庁舎平面図



2 階



(6) 予算執行状況

ア 収入状況

(単位 : 円)

	令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
使用料及び手数料	11,015,344	13,149,992	2,134,648
財 産 収 入	105,557	105,556	1
諸 収 入	74,851	72,200	2,651
計	11,195,752	13,327,748	2,131,996

イ 支出状況

(ア) 一般会計

(単位 : 円)

	決 算 額		
	令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
総 務 費	35,720,617	34,765,157	955,460
(総 務 管 理 費)	(35,720,617)	(34,765,157)	(955,460)
民 生 費	572,774	1,126,248	553,474
(社 会 福 祉 費)	(42,522)	(46,982)	(4,460)
(児 童 福 祉 費)	(137,186)	(701,698)	(564,512)
(障 害 福 祉 費)	(186,046)	(146,496)	(39,550)
(老 人 福 祉 費)	(207,020)	(231,072)	(24,052)
衛 生 費	30,335,041	25,909,024	4,426,017
(公 衆 衛 生 費)	(5,313,182)	(4,777,491)	(535,691)
(環 境 衛 生 費)	(782,764)	(594,165)	(188,599)
(保 健 所 費)	(21,624,203)	(20,399,404)	(1,224,799)
(医 薬 費)	(2,614,892)	(137,964)	(2,476,928)
計	66,628,432	61,800,429	4,828,003

(イ) 母子父子寡婦福祉資金会計

(単位 : 円)

	決 算 額		
	令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金	4,450	1,004	3,446
(事 務 費)	(4,450)	(1,004)	(3,446)

(ウ) 国民健康保険事業会計

(単位 : 円)

	決 算 額		
	令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
国 民 健 康 保 険 事 業	100,000	36,000	64,000
(国 民 健 康 保 険 事 業 費)	(100,000)	(36,000)	(64,000)

(7) 令和 6 年度主要事業の概要

ア 保健医療計画の推進

厚木保健福祉事務所と連携し、地域の保健医療の課題の解決に向けて取り組みました。

また、平成 28 年 10 月に策定された地域医療構想については、課題の共有化を図るなどして関係機関と連携し、構想実現に向けた取り組みを実施しています。

・ 県央地区保健医療福祉推進会議

イ 学校、職域、地域の連携強化による健康づくり

「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」に基づき、「学校、職域、地域の連携強化による健康づくり」を推進しています。

(ア) 職域のメンタルヘルス及び生活習慣病予防対策の推進

・ 県央地区地域・職域連携推進協議会

(イ) 児童生徒の健全な発育と健康の保持及び増進

・ 大和・綾瀬学校保健協議会

ウ 健康危機管理対策の推進

管内において食中毒、毒物劇物、感染症、飲料水、医薬品など何らかの原因により生命と健康の安全を脅かす事態が発生又は発生する恐れがある場合に、健康被害の発生予防、治療、拡大防止を円滑に行うため、それぞれのマニュアルに基づき対応します。

また、県央地域の災害医療対策については、厚木保健福祉事務所と連携し、関係機関との協議によりその取り組みを進めています。

・ 県央地域災害医療対策会議

エ 母子保健事業の充実

小児慢性特定疾病にかかっている児童等について、医療費の自己負担の一部を助成します。

また、医療的ケア児とその家族の支援体制の推進を目的に、災害時個別支援計画の作成、医療的ケア児の家族を対象とした交流会、支援者向けの研修会、母子保健委員会部会を開催します。

オ 健康づくりの推進

市が実施する健康増進事業の円滑な実施及び推進のため、健康増進事業及び糖尿病重症化予防に関する市町村自己評価のヒアリングや、会議及び研修を実施します。

医療保険課・国保連合会が行う国保データヘルス計画に基づく保健事業の推進等の事業に、厚木保健福祉事務所とともに協力をします。

また、データを活用できる人材育成や、健康増進課から提供された地域のデータを活用した地域課題の分析等につなげるための研修会を開催します。

カ がん検診受診促進事業

がん検診の受診率向上のため、県民および地域企業の事業主に対してがん検診のパンフレットの配布やイベントにて普及啓発します。

キ 歯科保健対策の充実

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき、歯及び口腔の健康づくり推進委員会を開催し、管内関係機関と連携して生活保護家庭幼児等の歯科保健を推進します。また、重度う蝕ハイリスク児や障がい児等に対する歯科相談・指導、オーラルフレイル健口推進員の養成・育成研修を実施するとともに、歯科医師会や市とともに災害時歯科の体制づくりを推進します。

ク 食生活対策の充実

地域特性に応じた栄養・食生活対策推進のために、特定給食施設の状況把握や食品の栄養成分表示に関する事前相談・適正化指導を行います。

また、居宅要介護者への適切な栄養管理につながることを目的に、地域食生活対策推進協議会を開催し、介護支援専門員との連携方法・地域の支援体制を検討します。

ケ 精神保健福祉対策の推進

精神疾患の早期発見・早期治療・再発予防を目的に相談・訪問を行うとともに、精神障害者の社会参加支援と障害への理解を深めることを目的に地域住民への普及啓発を図ります。

また、地域特性に応じた精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域精神保健福祉連絡協議会、担当者会議、研修などを開催するとともに、措置入院者等に対して退院後に必要な医療等の包括的な支援を適切かつ円滑に受け取ることができるよう、本人の同意を得たうえで計画を作成し、退院後支援を行います。

コ 認知症疾患対策

認知症疾患等とその家族に対して、保健師・ケースワーカー・精神科嘱託医による相談や家庭訪問を実施します。

また、若年性認知症を含め認知症に関する知識の普及を図るとともに、認知症等に関わる職員のスキルアップのための支援者対象研修会を開催します。

さらに、管内の認知症事業に関する取組み及び認知症等行方不明 SOS ネットワークの効果的な取組みを推進していくための管内認知症担当者連絡調整会議を実施します。

サ 感染症予防対策の推進

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症患者及びその接触者について疫学調査を実施するとともに二次感染防止のために保健指導を行います。

また、人権に配慮した迅速かつ適切な対応に努めるため、感染症診査協議会感染症部会を開催します。

感染症の発生状況を把握するため、届出による情報を収集し、また、観測定点を設け感染症発生動向調査を実施します。

さらに、感染症の感染拡大の防止に向けた情報の共有と、まん延防止に向けた推進体制の整備を図るため、感染症対策会議を開催します。

シ エイズ対策の推進

青少年に対するエイズ、性感染症の正しい知識の普及・啓発のための講演会を管内の中学校高等学校に実施します。

また、エイズに関する相談を随時行うとともに、原則火曜日の午後に匿名・無料でH I V検査を実施します。

ス 結核対策の推進

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者に対し医療機関等と連携した服薬完遂のために、D O T S (Directly Observed Treatment, Short-course: 直接服薬確認療法) を推進し、結核の予防上必要があると認める時は健康診断(接触者健診)を実施し、感染拡大防止及び発病の早期発見に努めます。

セ 難病患者支援対策の推進

指定難病患者に対し、医療費助成手続き等の支援を行います。難病患者及びその家族に対し、在宅療養を支援するため、保健師による相談や家庭訪問、訪問相談・支援事業(訪問リハビリ相談)による個別支援を行い、医療相談事業(相談会、講演会、リハビリ教室、患者と家族のつどい等)による集団での支援を行います。

また、関係機関と連携し、難病の方も地域で暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向け難病委員会を開催します。

ソ 環境衛生対策の充実

環境衛生営業施設(理・美容所、旅館等)に対して、監視指導を実施するとともに、自主管理を推進することにより衛生の確保を図ります。

快適な生活環境の確保のため、特定建築物や浄化槽等について、適正な維持管理指導を行います。

犬、猫等の飼養者に対して、適正な飼養について助言、指導を行い、犬等による危害の発生等防止に努めるとともに、動物愛護思想の普及、啓発を図ります。

タ 医薬品等安全対策の充実

薬局等に対して、医薬品等の品質及び安全性を確保するため、医薬品等の適正な販売、保管、管理等を指導します。

薬物乱用防止対策を推進するため、関係団体等と連携して、薬物乱用防止啓発活動を実施します。

チ 食品の安全・安心の確保

食品営業施設の監視指導、食品等の収去検査、自主衛生管理の推進を3つの柱として、食品の安全・安心の確保推進に取り組みます。

特に全国的に多発するカンピロバクター、ノロウイルス及び寄生虫等を原因とした食中毒予防対策、食品等の検査による違反食品の排除、営業者が行うHACCP（Hazard Analysis and Critical Control Point：危害要因分析重要管理点）に沿った衛生管理について指導、助言を行い、自主管理の徹底を図ります。

(8) 各種計画・指針

ア 「神奈川県保健医療計画」(第 8 次)(令和 6 年 3 月改定)

- ・医療法第 30 条の 4 第 1 項の規定により策定する法定計画で、県の保健医療システムの目指すべき目標と基本的方向を明らかにするもの
- ・県民が、県の保健医療提供体制の実情を把握し、今後の施策の方向性について理解を深め、予防、治療や健康づくりに主体的に取り組むことを支援するもの

【計画期間】2024 (令和 6) 年度～2029 (令和 11) 年度の 6 年間

【基本理念と基本目標】

- ・基本理念：すべての県民が健やかに安心してくらせる社会の実現に向けて、「誰でも等しく良質かつ適切な保健医療サービスを受けられる」ことを基本理念とする。
- ・基本目標：県民が身近なところで、質の高い医療を安心して受けられるよう、医療機関、介護事業者、行政、県民相互の連携の下で、切れ目のない保健医療福祉サービスを提供する体制を整備すること。

< 神奈川のめざすすがた >

誰もが元気で生き生きとくらしながら、必要なときに身近な地域で質の高い医療・介護を安心して受けられる神奈川

イ 「神奈川県地域医療構想」(平成 28 年 10 月策定)

- ・団塊の世代が 75 歳以上になる 2025 (令和 7) 年のあるべき医療提供体制の構築に向けた長期的な取組みの方向性を示すもの (「神奈川県保健医療計画」に位置付け)

【策定根拠】医療法第 30 条の 4 第 2 項第 7 号及び第 8 号

【計画期間】2018 (平成 30 年) 年度～2025 (令和 7) 年度の 7 年間

【地域医療構想における 3 つの取組み】

- ・将来において不足する病床機能の確保及び連携体制の構築
- ・地域包括ケアシステムの推進に向けた在宅医療の充実
- ・将来の医療提供体制を支える医療従事者の確保・養成

ウ 「かながわ健康プラン 2 1 (第 3 次)」(第 1 次：平成 13 年 2 月策定、令和 6 年 3 月改定)

- ・県の総合計画である「新かながわグランドデザイン (令和 6 年 3 月)」で示されている神奈川の将来像「いのち輝くマグネット神奈川」を実現するための個別計画
- ・健康増進法第 8 条の規定により、各都道府県が策定する、住民の健康増進の推進に関する施策についての基本的な計画 (都道府県健康増進計画)

【基本的な目標】

- 「健康寿命の延伸」及び「健康格差の縮小」
- 個人の行動と健康状態の改善

○社会環境の質の向上

○ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

【計画期間】2024（令和6）年度～2035（令和17）年度の12年間

エ 「神奈川県災害時保健医療救護計画」（令和2年10月策定、令和7年3月改定、名称変更）

- ・今後発生が予想される大規模災害に備え、発災時の県、市町村、災害拠点病院及び関係機関等の体制や役割、基本的な保健医療福祉活動の手順などを定め、県民の生命と健康を守るための保健医療福祉体制と活動内容を示すもの。
- ・大規模災害のほか、局地災害、原子力災害、他の都道府県における大規模災害を想定する。

【災害発生時における主な主体別の役割】

- ・県保健医療福祉調整本部は、県内の保健医療福祉活動（医療・保健衛生・福祉）に関する総合調整
- ・県保健福祉事務所・保健所設置市は、地域の拠点として、本部と連携して管内の保健医療福祉活動の総合調整を行う。地域災害医療対策会議等（原則二次保健医療圏ごとに設置され、その地域における保健医療福祉活動の本部機能を担う）等の設置
- ・一般市町村は、救護所及び避難所の設置運営／救護班の編成・派遣／医薬品等の確保等
- ・災害拠点病院は、災害時の医療救護活動の中心として重症者の救命医療、被災地からの重症者の受入れ、DMAT活動拠点本部としてDMATの受入れ・派遣
- ・災害協力病院は、災害拠点病院に準じた医療救護活動、災害拠点病院のバックアップ
- ・保健医療福祉関係団体は、協定等に基づき、保健医療福祉活動を実施

オ 「第4次神奈川県食育推進計画（食みらい かながわプラン 2023）」（平成20年3月策定、令和5年3月改定）

【基本理念】

- ・食育基本法に基づく「都道府県食育推進計画」とし、県の総合計画を補完する個別計画として位置付け、県の食育推進の方向性、目標等を定めるとともに、県が取り組むべき施策を明らかにする。
- ・生涯を通じた新進の健康を支える食育の推進、持続可能な職を支える食育の推進、「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進等の観点を踏まえ、本県の特性に合わせた食育をさらに推進していく。

【計画期間】2023（令和5）年度～2027（令和9）年度の5年間

カ 「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画（第2次）」（令和6年3月策定）

【基本理念】

- ・「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けて、健康寿命の延伸や、歯及び口腔に関する健康格差の縮小を推進する観点から、すべての人にお口の未病改善のため「健口かながわ」を実践してもらえるよう、市町村、関係団体と連携・協力しながら進めていく

【計画期間】2024（令和6）年度～2035（令和17）年度の12年間

キ 「神奈川県医療費適正化計画」（平成20年4月策定、令和6年3月改定）

【基本理念】

- ・保険者等と連携して県民の健康の保持の推進・生活の質の維持・向上に取り組むとともに、限りある社会資源を効果的・効率的に活用し、取組みが常に効果的なものとするよう努める

【計画期間】2024（令和6）年度～2029（令和11）年度の6年間

ク 「神奈川県がん対策推進計画」（平成17年3月策定、令和6年3月改定）

【基本理念】

- ・「がんの未病改善」「がん医療の提供」「がんとの共生」を3つの柱とする
- ・「誰一人取り残されないがん対策を推進し、県民一人ひとりが、がんについて正しく理解することで偏見をなくすとともに、がんと向き合い、支え合うことができる社会を構築し、全ての県民とがんの克服を目指す

【計画期間】2024（令和6）年度～2029（令和11）年度の6年間

ケ 「神奈川県肝炎対策推進計画」（平成25年3月策定、令和5年2月改定）

【基本理念】

- ・「肝炎対策の推進に関する基本的指針」に則り、市町村、医療機関、関係団体等と連携しながら、県の総合的な肝炎対策の推進を図る

【計画期間】2023（令和5）年度～2027（令和9）年度の5年間

コ 「神奈川県アルコール健康障害対策推進計画」（平成30年3月策定、令和5年3月改定）

【基本理念】

- ・アルコール健康障害の正しい理解とアルコール健康障害を有する者等への支援の充実を進め、県民が健康で安心して暮らすことのできる社会の実現を目指す

【計画期間】2023（令和5）年度～2027（令和9）年度の5年間

サ 「神奈川県循環器病対策推進計画」（令和4年3月策定、令和6年3月改定）

【基本理念】

- ・「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」に基づく神奈川県の計画

- ・「循環器病の未病改善や正しい知識の普及啓発等」、「保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」及び「循環器病の研究推進」を3つの施策に取り込むことにより、「健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少及びQOLの向上」を目指す

【計画期間】2024（令和6）年度～2029（令和11）年度の6年間

シ 「かながわ自殺対策計画」（平成17年3月策定、令和5年3月改定）

【基本理念】

- ・自殺対策に関する状況や動向、自殺対策基本法や新たな大綱の趣旨を踏まえ、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」をめざし、県の自殺対策を総合的かつ効果的に進めていく

【取り組むべき施策】

- ・子供・若者の自殺対策の更なる推進・強化
- ・女性に対する支援強化
- ・総合的な自殺対策のさらなる推進・強化

【計画期間】2023（令和5）年度～2027（令和9）年度の4年間

ス 「第8期かながわ高齢者保健福祉計画（第9期）」（令和6年3月改定）

- ・介護保険制度や高齢者保健福祉施策を円滑に実施するために、将来の高齢者を取巻く状況を見据えた介護サービス量等の目標を設定し3年間で推進する。

【基本目標】「高齢者が安心して、元気に、いきいきと暮らせる社会づくり」の実現

- 「安心して暮らす」…医療や介護、予防などのサービスが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築の推進
- 「元気に暮らす」…高齢者が、住み慣れた地域や家庭において、自立した生活ができるよう支援し、生活習慣病の予防などの健康づくりの推進
- 「いきいきと暮らす」…高齢者の経験、知識等をいかした就業や社会参画活動を通して、いきいきと暮らせるよう、生きがいづくりの推進
- ・デジタル技術の進展によって社会が急激に変化し続けており、デジタルによる革新、デジタル・トランスフォーメーション（DX）を導入

【計画期間】2024（令和6）年度～2026（令和8）年度の3年間（介護保険法の規定に基づく）

セ 神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例 ～ともに生きる社会を目指して～ に基づく基本計画、（令和6年3月策定）

【計画策定の経緯】2016年10月「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定

障害者を含むすべての県民と障害に携わる事業者、行政等が互いに連携し一体となりながら、誰もが安心していきいきと暮らすことのできる地域共生社会の実現に向けた取り組みを進める。

【計画期間】2024（令和6）年度～2029（令和11）年度の5年間

ソ 「神奈川県感染症予防計画」（平成11年10月策定、令和6年3月改定）

【ポイント】

- ・新興感染症への対応の強化
- ・医療提供体制、検査体制及び宿泊療養体制等について流行の段階に分けて数値目標を設定
- ・医療機関が講ずべき措置等について、あらかじめ関係医療機関等と協定を締結

【基本的な考え方】

- ・普段から感染症の発生及びまん延防止に重点を置いた事前対応型行政を推進
- ・神奈川県感染症対策協議会を通じ、平時から関係者が一体となって感染症の発生及びまん延防止の取組を改善

タ 「神奈川県新型インフルエンザ等対策行動計画」（平成25年策定、令和6年3月改定）

【基本理念】

- ・神奈川県の区域に係る新型インフルエンザ等対策の総合的な推進に関する事項、県が実施する措置などを示すとともに、市町村が市町村行動計画を作成する際の基準となるべき事項等を定めるもの。

【目的】

- ・感染拡大を可能な限り抑制し、県民の生命及び健康を保護
- ・県民生活及び県民経済に及ぼす影響の最小化

【ポイント】

- ・対象とする疾患を、新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等だけでなくその他の幅広い呼吸器感染症も想定
- ・検査、保健など対策項目を拡充し、各対策項目の取組を準備期・初動期・対応期の3期に分けて記載。特に準備期の取組を充実
- ・感染が長期化する可能性も踏まえ、複数の感染拡大の波への対応や、ワクチンや治療薬の普及等に応じた対策の機動的な切替えについても明確化

第2章 管理・企画調整業務

管理・企画調整業務は、主として管理企画課管理担当において、財産管理、予算経理及び一般庶務を処理し、企画調整担当において衛生統計、医務、健康教育、人材養成等を行っている。また、所内業務を円滑に推進するため、各課業務の総合調整を行うほか、「かながわ健康プラン21」・「神奈川県保健医療計画」の推進、かながわ高齢者保健福祉計画等各種計画の推進及び市への支援等を通じて、管内における保健・医療・福祉の円滑な推進に努めている。

1 かながわ健康プラン 2 1 の推進等

神奈川県では、平成 13 年 2 月に「かながわ健康プラン 2 1」を策定し、「かながわ健康づくり 10 か条」を提唱し、県民の健康づくりを推進している。

令和 6 年 3 月に第 3 次計画を策定し、全ての県民が未病を自分のこととして考え、かながわ未病改善宣言に基づき「食」「運動」「社会参加」の 3 つを柱とする未病改善に取り組んでもらえるよう、関係機関、市町村等と連携しながら、個人の特性や状況に応じた健康増進施策の展開や、未病改善を気軽に実践するための環境づくり等を推進します。

当所では、がん検診推進事業、地域・職域連携推進事業、栄養対策や歯科保健等の各種事業を活用して、かながわ健康プラン 2 1 の普及啓発に取り組んでいる。

2 各種協議会等

(1) 県央地区保健医療福祉推進会議（事務局は厚木保健福祉事務所）

神奈川県保健医療計画で定められた県央二次保健医療圏における保健、医療、福祉に関する計画の着実な推進など保健、医療、福祉に係る重要事項を審議することを目的として設置し、委員は、圏内の保健医療関係団体、行政機関等で構成されている。

ア 県央地区保健医療福祉推進会議

開催年月日・会場	議 題
令和 6 年 8 月 27 日 オンライン	1 令和 6 年度保健医療計画推進会議等の運営について 2 今後の病床機能に関する議論の方向性と 2025 プランの変更協議 3 有床診療所のプラン策定 4 2025 プランの変更について
令和 6 年 11 月 18 日 オンライン	1 有床診療所の「2040 年に向けた医療提供プラン」の策定状況
令和 7 年 2 月 7 日 オンライン	1 2025 プランの変更協議に関する取扱い 2 非稼働病床を有する医療機関への対応 3 紹介受診重点医療機関の公表 4 2025 プランの変更

イ 県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループ

開催年月日・会場	議 題
令和 6 年 7 月 8 日 海老名市文化会館	1 第 8 次保健医療計画下における地域医療構想について 2 地域医療構想について 3 2025 プラン更新について 4 厚木保健福祉事務所から
令和 6 年 10 月 21 日 海老名市文化会館	1 今後の病床機能に関する議論の方向性と「2025 プラン」に関する変更協議 2 定量的基準による分析結果及びデータ分析事業の実施 3 県央地区における高度急性期病床の在り方について 4 2025 プランの変更 5 かかりつけ医機能報告制度の国の検討状況
令和 7 年 1 月 20 日 海老名市文化会館	1 2025 プラン変更協議に関する取扱いについて 2 非稼働病床を有する医療機関への対応について 3 地域医療構想に関連して（2025 プランの変更）

(2) 大和・綾瀬学校保健協議会

昭和 40 年の大和保健所設立と同時期に、学校と保健所が連携と協力を図ることによって地域、学校における児童・生徒の保健活動をより良く展開、推進していくことを目的として設置された。平成 26 年度からは組織再編により、「大和・綾瀬学校保健協議会」として実施している。

ア 事業実施状況

開催年月日・会場	内 容	参加数
令和 6 年 6 月 25 日 大和センター	講演：「自傷や薬物乱用にしか頼れない子どもたち ～今、大人ができること～」 講師：地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター コ・メディカル部長 青山久美	42 名

イ 運営委員会

開催年月日・会場	内 容	参加数
令和 6 年 6 月 10 日 大和センター	第 1 回運営委員会 令和 5 年度大和・綾瀬学校保健協議会の実績報告 令和 6 年度大和・綾瀬学校保健協議会の事業計画の検討	10 名
令和 7 年 2 月 25 日 大和センター	第 2 回運営委員会 令和 6 年度大和・綾瀬学校保健協議会の実績報告 令和 7 年度大和・綾瀬学校保健協議会の取組みの方向性の検討	11 名

(3) 保健福祉サービス連携調整会議（総括表）

管内における関係機関、団体等の連携により行われる各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、次の委員会、協議会を開催した。

ア 保健福祉サービス調整会議

開催年月日・会場	内 容	参加数
令和 7 年 3 月 11 日 大和センター	1 各委員会令和 6 年度事業計画について 2 各委員会にて議論された事項で、本会議に検討が必要な課題の共有について	7 名

イ 委員会及び協議会

委員会名等	開催回数	掲載ページ*	担当課
母子保健委員会	1 回 部会 1 回	P . 3 3	保健福祉課
歯及び口腔の健康づくり推進委員会	1 回 部会 2 回	P . 4 0	
地域食生活対策推進協議会	1 回 部会 1 回	P . 5 2	
地域精神保健福祉連絡協議会	1 回	P . 6 2	保健予防課
難病委員会	1 回	P . 7 6	

* 委員会、協議会の詳細については、各委員会等のページに掲載

(4) 地域包括ケア・在宅医療介護連携推進事業

管内地域における地域包括ケア体制推進のために、在宅医療に携わる方及び今後関わりたいと思っている方を対象に医療・介護連携の強化を目的とした研修会を開催する。

開催年月日・会場	内 容	参加数
令和 7 年 2 月 4 日 大和センター	講話：「ACP について～多職種連携をするために～」 講師： 川崎市立井田病院腫瘍内科 腫瘍内科部長 西智弘	24 名

ACP：人生会議、Advance Care Planning

(5) 地域・職域連携推進事業（事務局は厚木保健福祉事務所）

県央二次保健医療圏における地域・職域連携体制を構築するため県央地区地域・職域連携推進協議会を設置し、地域保健と職域保健が連携し健康課題に対する効果的な対策等を推進している。

ア 県央地区地域・職域連携推進協議会ワーキンググループ

開催年月日・会場	内 容	参加数
令和 6 年 12 月 23 日 大和センター・オンライン併用	1 県央地区地域・職域連携推進協議会のこれまでの取組みについて 2 県央地区の健康課題について 3 令和 6 年度の取組みについて 4 今後の取組みにおける提案・依頼等	24 名

イ 県央地区地域・職域連携推進協議会

開催年月日・会場	内 容	参加数
令和 7 年 3 月 12 日 大和センター・オンライン併用開催	1 県央地区地域・職域連携推進協議会のこれまでの取組みについて 2 県央地区の健康課題について 3 令和 6 年度の各市町村・団体の取組みについて 4 令和 6 年度地域・職域連携推進協議会ワーキンググループ実施報告 5 地域・職域連携に関する意見交換 6 その他	30 名

3 医務

(1) 医療施設

ア 医療施設等数と人口比（人口 10 万対率）

（令和 7 年 3 月 31 日現在）

医療施設等名	医療施設等数			人口 10 万人あたり		
	総 数	大和市	綾瀬市	総 数	大和市	綾瀬市
病 院	10	9	1	3.1	3.7	1.2
一般診療所	210	179	31	63.6	72.4	37.4
歯科診療所	162	138	24	49.9	56.9	29.0
助 産 所	9	6	3	2.8	2.5	3.6
歯科技工所	42	33	9	12.9	13.5	10.9
あんま・はり・きゅう	221	187	34	67.6	76.5	41.0
柔道整復	124	107	17	38.0	43.8	20.5

人口 10 万対の人口は「神奈川県人口統計調査結果」R7.1.1 より

イ 医療施設数と人口比（人口 10 万対率）の年度推移

（各年度末現在）

医療施設名	総数						人口 10 万人あたり					
	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
病 院	10	10	10	10	10	10	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
一般診療所	217	213	213	211	209	210	67.3	66.2	65.6	64.7	64.0	63.6
歯科診療所	167	169	170	169	164	162	53.5	52.5	52.4	51.8	51.1	49.9

人口は「神奈川人口統計調査結果」（各年 10 月 1 日現在）

ウ 管内病床数と人口比（人口 10 万対率）

（令和 7 年 3 月 31 日現在）

医療施設（病床）名	管内病床数			人口 10 万人あたり		
	総 数	大和市	綾瀬市	総 数	大和市	綾瀬市
病院（一般病床）	1,343	1,221	122	410.5	499.7	147.3
病院（精神病床）	250	250	—	76.4	102.3	—
病院（療養病床）	196	136	60	59.9	55.7	72.5
病院（病床） 計	1,789	1,607	182	546.8	657.7	219.8
一般診療所病床	68	39	29	20.8	16.0	35.0
管内病床 総計	1,857	1,646	211	567.6	673.6	254.8

エ 管内病床数と人口比（人口 10 万対率）の年度推移

（各年度末現在）

医 療 施 設 病床名	総数						人口 10 万人あたり					
	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
病院 一般病床	1,329	1,329	1,329	1,329	1,329	1,343	411.5	413.0	409.6	407.7	406.9	410.5
病院 精神病床	250	250	250	250	250	250	77.4	77.7	77.0	76.7	76.6	76.4
病院 療養病床	196	196	196	196	196	196	60.7	60.9	60.4	60.1	60.0	59.9
小計	1,775	1,775	1,775	1,775	1,775	1,857	549.7	551.6	547.0	544.5	543.5	546.8
一 般 診 療 所病床	93	93	93	68	68	68	28.8	28.9	28.7	20.9	20.8	20.8
総計	1,868	1,868	1,868	1,843	1,843	1,857	578.5	580.4	575.7	565.3	564.3	567.6

人口は「神奈川人口統計調査結果」（各年 10 月 1 日現在）

(2) 医療施設に係る許認可

* X線等装置はエックス線装置及びMRI装置の設置・廃止・変更届

		総数	病 院	一 般 診療所	歯 科 診療所	X線等 装置 *	助産 所	あん摩 鍼・灸	柔道 整復	歯 科 技工所	巡回健 診等
許可申請	開 設	30		28	2						
	使 用	6	6								
	変 更	13	10	3							
届 出	開 設	198		30	5	55	1	11	11		85
	変 更	180	7	31	18	20	1	52	50	1	
	休廃止	115		30	11	61	1	6	10		
総数		537	19	119	36	136	3	68	70	1	85

(3) 免許事務取扱い件数

	総 数	医 師	歯 科 医 師	薬 剤 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	管 理 栄 養 士	栄 養 士	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	受 胎 調 節 実 地 指 導 員
登録申請	234	9	3	23	4	2	98	1	22	20	5	14	**	20	10	3	
籍訂正	188	4	1	27	14	4	84	6	13	11	1	5		13	3	2	
再交付	16			2			5	2	1	3		1			2		
その他 *	2	1	1														
総数	440	14	5	52	18	6	187	9	36	34	6	20		33	15	5	

* その他：登録抹消など

**衛生検査技師免許は新規登録終了

(4) 医療従事者数

(令和4年12月31日現在)

	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
総 数	477	176	682	101	77	1,840	232
大和市	420	151	606	76	62	1,571	176
綾瀬市	57	25	76	25	15	269	56

医師数等の調査は、隔年で実施されている。

令和6年調査については公表前(令和7年9月末)

出典) 医師・歯科医師・薬剤師数は、厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

保健師・助産師・看護師・准看護師数は、神奈川県「業務従事者届集計結果」

(各年 12 月 31 日現在)

	H28	H30	R 2	R 4
医 師	410	410	450	477
歯科医師	239	239	235	176
薬剤師	654	654	724	682
保健師	79	65	89	101
助産師	71	69	68	77
看護師	1,552	1,516	1,689	1,840
准看護師	331	349	280	232

4 病院等立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 25 条第 1 項に基づき、管内の 10 病院及び 5 診療所について立入検査を実施した。

区 分	実施数	指導結果			
		文書指摘		文書指導	
		医療機関数	件 数	医療機関数	件 数
病 院	10	1	2 1	4	5
診療所	15				

1 有床診療所（ 3 ） 人工透析診療所（ 2 ）

2 文書指摘は医療安全に関する項目

令和 6 年度重点項目

- ・サイバーセキュリティの確保
- ・医師の働き方改革に関する取組
- ・院内感染防止対策に関する取組

5 献血推進事業

(1) 令和 6 年度献血実施状況

			大和市	綾瀬市	総数
献血者数 (単位：人)	200ml	目標数(人)	48	22	70
		献血数(人)	137	64	201
		達成率	285.4%	290.9%	287.1%
	400ml	目標数(人)	3,372	1,328	4,770
		献血数(人)	2,856	1,389	4,245
		達成率	84.7%	104.6%	89.0%
	計	目標数(人)	3,420	1,350	4,770
		献血数(人)	2,993	1,453	4,446
		達成率	87.5%	107.6%	93.2%
献血量(全血) (ℓ)		目標量(ℓ)	1,358.4	535.6	1,894.0
		献血量(ℓ)	1,169.8	568.4	1,738.2
		達成率	86.1%	106.1%	91.8%

(2) 献血実施状況の推移

ア 管内（大和市＋綾瀬市）の献血実施状況の推移

			平成 31 年度	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
献血者数	200ml	目標数(人)	115	108	79	73	122	48
		献血数(人)	129	140	159	231	198	137
		達成率	112.2%	129.6%	201.3%	316.4%	162.3%	285.4%
	400ml	目標数(人)	4,025	4,264	5,025	4,648	4,546	3,372
		献血数(人)	4,180	4,556	4,578	4,522	4,459	2,856
		達成率	103.9%	106.8%	91.1%	97.3%	98.1%	84.7%
	計	目標数(人)	4,140	4,372	5,104	4,721	4,668	3,420
		献血数(人)	4,309	4,696	4,754	4,753	4,657	2,993
		達成率	104.1%	107.4%	93.1%	100.7%	98.5%	87.5%
献血量 (全血)		目標量(ℓ)	1,633	1,727.2	2025.8	1,873.8	1,842.8	1,358.4
		献血量(ℓ)	1,697.8	1,850.4	1863.0	1,855.0	4,657	1,169.8
		達成率	104.0%	107.1%	91.9%	99.0%	98.9%	96.1%

イ 大和市の献血実施状況の推移

		平成 31 年度	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
献血者数 (単位：人)	200ml	94	133	121	179	138	137
	400ml	3,525	3,535	3,191	3,295	3,286	2,856
	計	3,619	3,648	3,312	3,474	3,406	2,993
献血量(全血) (ℓ)		1,428.8	1,436.6	1,300.6	1,353.8	1,334.8	1,169.0

ウ 綾瀬市の献血実施状況の推移

		平成 31 年度	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
献血者数 (単位：人)	200ml	35	27	38	52	60	64
	400ml	655	1,021	1,387	1,227	1,191	1,389
	計	690	1,048	1,442	1,279	1,251	1,453
献血量(全血) (ℓ)		269.0	413.8	562.4	501.2	488.4	568.4

6 神奈川県保健衛生表彰

(1) 知事表彰

ア 個人の部

区 分	受賞者名	勤務先等	職 種 等
医療関係功労	佐藤 寿男 河合 光正 杉山 順一 佐藤 好美 石井 和男	佐藤眼科 あやせ整形外科・眼科 スギヤマ歯科医院 大和市立病院 ブルームデンタル	医師 医師 歯科医師 地方公務員（看護師） 歯科技工士
環境衛生関係功労	行 早苗	ユキ美容室	美容師

イ 施設の部

施 設 名	所 在 地	業 種
立花	綾瀬市	飲食店

表彰式は令和6年11月27日に県庁本庁舎大会議場にて実施。

(2) 厚木保健福祉事務所長表彰

ア 保健衛生功労

(ア) 個人の部

区 分	受賞者名	勤務先等	職 種 等
医療関係功労	木山 智 柏木 利幸 渡部 一博 三橋 恭子 佐藤 吉則 高橋 恵美子 長坂 洋子 篠田 則子	中央林間病院 大和ハートフルクリニック 渡部歯科クリニック 大和市立病院 大和市立病院 大和病院 大和徳洲会病院 Kデンタルクリニック	医師 医師 歯科医師 地方公務員（看護師） 地方公務員（臨床工学技士） 看護師 看護師 歯科衛生士
環境衛生関係功労	吉田 守 野上 理恵子	Hair Salon まもるん ヘアクラブ 彩	理容師 美容師
食品衛生関係功労	山口 清一	魚清	飲食店関係者
地域公衆衛生活動 関係功労	本庄 順子 増澤 淑子	綾瀬市 -	地方公務員（保健師） 食生活改善推進員

(イ) 施設の部

施 設 名	所 在 地	業 種
気軽食堂	大和市	飲食店

イ 献血推進功労

団 体 名	所 在 地
横浜森永乳業株式会社	綾瀬市
大和中央シティライオンズクラブ	大和市

表彰式は令和6年11月20日に大和センター講堂にて実施。

7 人材養成

(1) 学生実習

ア 合同オリエンテーション

(ア) 前期 (保健師・看護師・管理栄養士・歯科衛生士対象) 令和6年4月19日(金) 8校 49名
後期 (看護師・管理栄養士対象) 令和6年9月6日(金) 4校 24名

イ 合同セミナー (看護師学生対象)

(ア) 前期 令和6年4月18日(木) 1校 14名
(イ) 後期 令和6年9月5日(木) 2校 18名

ウ 学生実習状況

	学 校 名 等	グループ	人数	所管
保 健 師	慶應義塾大学	1	2	管理企画課
	東海大学	1	4	
	神奈川工科大学	1	2	
	小 計	3	8	
看 護 師	神奈川県立保健福祉大学	1	10	管理企画課
	湘南平塚看護専門学校	1	10	
	湘南医療大学看護学科	1	14	
	厚木看護専門学校	1	12	
	小 計	4	46	
管理栄養士	関東学院大学	1	3	保健福祉課
	相模女子大学	1	3	
	神奈川県立保健福祉大学	1	3	
	鎌倉女子大学	1	3	
	神奈川工科大学	1	3	
	小 計	5	15	
歯科衛生士	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校	1	6	
総 数		13	75	

8 保健師業務

専門的支援が必要な慢性疾患児、難病、感染症、精神障害者等を中心に事業担当者からの事例紹介や事業説明、コロナウイルス感染症対策の実際を家庭訪問や面接、電話での保健指導を行った。

(1) 家庭訪問

	感 染 症	結 核	精 神 障 害	心 身 障 害					生活 習慣病		難 病	小 児 特 定 疾 患				そ の 他 の 疾 病	未熟児		妊 産 婦	そ の 他	総 数
				1 歳 未 満	6 歳 以 下	18 歳 以 下	39 歳 以 下	40 歳 以 上	39 歳 以 下	40 歳 以 上		1 歳 未 満	6 歳 未 満	18 歳 未 満	18 歳 以 上		1 歳 未 満	1 歳 以 上			
総 数	13	132	14								155	4	10	27							355

家庭訪問（再掲）

	精神障害			特 定 疾 患					介護保険		児 童 虐 待	小児アレルギー疾患			高 齢 者 虐 待
	社 会 復 帰	認 知 症	ア ル コ ー ル	膠 原 病	血 液 系	循 環 器	神 経 系	消 化 器	専 門 調 査	苦 情 等 調 査		喘 息	ア ト ピー 性 皮 膚 炎	そ 他 ア レ ル ギ ー の 疑 い	
総 数		14		5			150								

(2) 所内指導

	感 染 症	結 核	精 神 障 害	認 知 症	心 身 障 害	障 害 児	生 活 習 慣 病	難 病	小 児 特 定 疾 病	そ の 他 疾 病	妊 婦	産 婦	未 熟 児	乳 児	幼 児	エ ィ ズ	性 と 健 康	そ の 他	総 数
面接	12	99		12				2498	146	3						93	1	1	2865
電話	403	385		39	1		1	1089	173	2	2	1			3	17			2116
文書	39	18		1				30	10										98
総数	454	502		52	1		1	3617	329	5	2	1			3	110	1	1	5079

(3) 家庭訪問以外の保健活動実施状況

	健康相談	集団検診	健康教育	デイケア	地区組織活動	総 数
開 設 回 数	110		27			137
指導延人員	300		1396			1696

(4) 地域保健師業務連絡会議

県及び市の保健師が行う対人保健業務等について住民への行政効果の一層の向上を図るために、保健師活動の連絡調整、意見交換等を行った。

ア 保健師配置状況

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

大 和 市		綾 瀬 市		保健福祉事務所	総 数
保健福祉主管課	その他	保健福祉主管課	その他		
50	2	16	1	16	85

育休・産休・療休は除く 課長・総括副主幹含む

イ 厚木保健福祉事務所大和センター管内地域保健師業務連絡会議

開催年月日・会場	内 容	出席数
令和 6 年 5 月 28 日 大和センター	議題	23
	1 地域保健師業務連絡会議と管内保健師研究会令和 6 年度計画	
	2 地域保健師業務連絡会議と管内保健師研究会令和 5 年度報告	
	3 管内の保健師活動の取組みについて	
	4 保健師の人材確保・人材育成について	
	5 災害時の保健師活動	
	6 令和 6 年度看護学生等実習計画について	
	7 地域保健師研究発表会について	

ウ 研究会

(ア) 厚木保健福祉事務所大和センター管内保健師研究会

開催年月日・会場	内 容	講師	参加数
令和 6 年 9 月 24 日 厚木保健福祉事務所	令和 6 年度 中堅期保健師研修 (厚木保健福祉事務所と合同開催) (1) 先輩保健師へのインタビュー (2) グループワーク 「経験を生かしてリーダーへ これまでの学びを次のステップへ」 (3) まとめの講義 「探してみよう！中堅期保健師のやる気スイッチ」	県立保健福祉大学教授 臺有桂 大和市健康づくり推進課 主幹 浅倉久子	18
令和 6 年 10 月 1 日 大和センター	令和 6 年度新任期保健師対象研修 (1) 講義 「連携しよう！～ヤングケアラーのケース支援から～」 (2) グループワーク・情報交換	綾瀬市健康づくり推進課主幹 橋本寿久	8
令和 6 年 10 月 18 日 大和センター	令和 6 年度全階層研修 (1) 講義 「大規模災害時における受援体制を考える～母子保健を中心に～」 (2) 訓練 HUG(避難所運営ゲーム) (3) 訓練 保健師派遣要請訓練	県立保健福祉大学教授 臺有桂	9
令和 6 年 11 月 6 日 厚木保健福祉事務所	令和 6 年度保健師リーダー連絡会 (厚木保健福祉事務所と合同開催) (1) 講義(話題提供)座間市 「職場全体で行う行政保健師の育ちあい」 (2) グループワーク 「人材育成において工夫していること」 各所属による情報共有 (3) 講義「保健師の人材育成」	座間市健康部健康医療課 技幹 松尾由美子 県立保健福祉大学教授 臺有桂	26
令和 7 年 1 月 22 日 大和センター	令和 6 年度新任期保健師研修 (厚木保健福祉事務所と合同開催) (1) PDCA 発表 (2) グループワーク 業務意見交換 (3) グループワーク・学び発表 (4) まとめ	厚木市こども家庭センター副主幹 村井麻衣子 大和市すくすく子育て課 主査 小渡葉子 海老名市こども育成課 副主幹兼保健師 小泉千晴 県・大和センター職員	25

9 各種調査実施状況

	実施時期	地区・対象	調査内容
国民生活基礎調査 (基幹統計「国民生活基礎統計」を作成するための調査)	令和6年 6月	大和市3地区 綾瀬市1地区	世帯との続柄、性、生年月日、配偶者の有無、医療保険加入状況、傷病の状況、公的年金・恩給の需給状況等、世帯票・所得票
社会保障・人口問題基本調査(世帯動態調査)	令和6年 7月	無作為抽出の 世帯主・世帯員	世帯・世帯員の属性、世帯内地位の変化、親及び子の基本属性と居住関係等
医師・歯科医師・薬剤師 届出調査	令和7年 1月	国内有資格者	医師・歯科医師・薬剤師の性・年齢・業務種別、従事場所等
保健師・助産師・看護師・ 准看護師・歯科衛生士・ 歯科技工士業務従事届	令和7年 1月	業務従事者	保健師等の性・年齢・業務種別・従事場所等

< その他定期的衛生統計 >

- ・人口動態調査(月報)
- ・医療施設動態調査(月報)
- ・病院報告患者票(月報)
- ・地域保健・健康増進事業報告(年度報)
- ・衛生行政報告例(年度報、隔年報)

10 健康危機管理対策の推進

(1) 災害時活動マニュアル等の整備

要援護者対応マニュアルの改定等を踏まえ、大和センター災害時活動マニュアルについて、令和6年3月に改定を行った。

国の策定ガイドラインに基づき、大和センター健康医療局機器対処ガイドライン(感染症編)を令和6年3月に策定した。

(2) 県央地域災害医療対策会議

平時には災害時医療救護に関する活動及び訓練のあり方等の検討を行い、災害発生時には県央二次保健医療圏における保健医療活動の本部機能を担うもので、地域災害医療コーディネーター、医療関係者、行政関係者等で構成されている。

開催年月日・会場	内容	出席者
令和6年9月2日 オンライン	1 県央地域災害医療対策会議及び活動方針について 2 令和6年度大規模地震時医療活動訓練について	39

(3) S C U 設営の整備と訓練

大規模地震時医療活動訓練の一環として、県保健医療救護計画で厚木航空基地に位置付けられた S C U (航空搬送拠点臨時医療施設)の設営体制を整備するための要員職員の確保、研修等及び緊急参集訓練時の倉庫備品の確認などについて、医療危機対策本部室に協力して実施する。

開催年月日・会場	内容	出席者
———	未開催	———

(4) 新型インフルエンザ等地域医療体制対策会議

管内の関係機関と地域における感染症に関する情報を共有し、連携して感染症のまん延防止と迅速かつ適切な対応を行い、地域全体の感染症対策の推進を図ることを目的とする。

開催年月日・会場	内容	出席者
令和 6 年 12 月 23 日 大和センター・オンライン	1 神奈川県新型インフルエンザ等対策公移動計画（改定素案）について	10

11 災害派遣（DHEAT、保健師）

該当無

第3章 保健福祉業務

保健福祉業務は主として、地域住民の健康増進及び保健福祉の向上をめざし、慢性疾患児等の専門的な母子保健業務、歯科保健業務、栄養・食生活対策推進業務及び小児医療援護、母子・父子・寡婦福祉資金の貸付、健康づくり・がん対策、介護保険運営指導を行っている。

1 母子保健

(1) 母子保健委員会

委員会は、厚木保健福祉事務所大和センター及び大和市、綾瀬市が実施する母子保健事業が円滑かつ効果的に行われるために、各種の母子保健事業の課題の検討や実績等の分析評価を行うことにより、管内の母子保健施策の向上を図ることを目的とする。

ア 母子保健委員会

開催年月日・会場	議 題	委員	出席数
令和 7 年 2 月 3 日 大和センター	1 委員長の選出 2 大和センター管内の母子保健の課題 3 令和 7 年度母子保健事業の計画	医師会 行政職員	7

イ 実務担当者会議(厚木保健福祉事務所及びかながわ医療的ケア児支援センター県央圏域ランチ会議と合同開催)

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和 6 年 8 月 23 日 大和センター	1 医療的ケア児等の在宅療養支援推進研修の報告 2 県央圏域ランチと厚木保健福祉事務所・大和センターとの連絡会議の報告 3 各関係機関の医療的ケア児支援に関する取り組み・背景についての情報交換	33

ウ 情報交換会(厚木保健福祉事務所と合同開催)

開催年月日	会 議 名	会場	出席数
令和 6 年 5 月 13 日	第 1 回ランチコア会議	大和センター	14
令和 6 年 6 月 10 日	第 2 回ランチコア会議	厚木保健福祉事務所・ オンライン併用	10
令和 6 年 7 月 8 日	第 3 回ランチコア会議	厚木保健福祉事務所・ オンライン併用	14
令和 6 年 9 月 30 日	第 4 回ランチコア会議	オンライン	11
令和 7 年 3 月 18 日	第 5 回ランチコア会議	厚木保健福祉事務所・ オンライン併用	10

(2) 管内母子保健事業連絡会議

大和市・綾瀬市・管内児童相談所の保健師が、地域の母子保健事業を円滑かつ効果的に行い、管内の母子保健施策の向上を図ることを目的に行った。

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和 6 年 5 月 29 日 厚木合同庁舎	1 各所属の体制の共有 2 情報交換	19

(3) 妊娠・出産支援体制づくり事業

安心して妊娠・出産ができる環境を地域全体で推進するための体制づくりの一環として、関係機関職員を対象とした連絡会の開催と支援の質の向上を図ることを目的とした事例検討会を開催した。

ア 連絡会議

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和6年7月22日 大和センター・ オンライン併用	1 行政と産科医療機関との連携について 2 その他 意見交換	9

イ 研修会及び事例検討会（再掲（7）ウ 養育困難事例検討会）

開催年月日・会場	対 象	内 容	講 師	参加数
令和6年 10月31日 大和センター	管内母子保健及び要 保護児童対策地域協 議会担当保健師等	メンタル面で課題を抱 えている妊産婦と親へ の支援 ～事例検討から学ぶ～	相州病院 医師 寺岡菜穂子	10
令和7年 1月23日 大和センター	管内の分娩施設を有 する産婦人科5か所 の助産師等 管内母子保健及び要 保護児童対策地域協 議会担当保健師等	メンタル面で課題を抱 えている妊産婦の支援 と愛着形成の捉え方 ～事例検討から学ぶ～	相州病院 医師 寺岡菜穂子	10

(4) 性と健康の相談センター事業

プレコブションケア（ ）を含めた、男女を問わず、性と生殖に関するライフステージに応じた切れ目ない健康支援を実施するため、健康相談及び健康教育を実施した。

プレコンセプションケアとは男女や年齢を問わず、将来の妊娠や体の変化に備えて自分たちの健康やライフプランを男女ともに考えていくこと。

ア 健康相談

(ア) 性と健康の相談(旧 生涯を通じた女性の保健相談)(随時相談)

	相談方法 (実)			相談者(延)				相談内容(延)						事後指導(実)		
	電	面		本	保	そ	配	妊	不	メンタルケア	婦	性	そ	助	受	そ
	話	接		人	護	の	偶	娠	妊		人	感	の	言	診	の
					者	他	者				科	染	他		奨	他
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	3	3	0	2	0	1	0	2	1	0	0	0	0	3	0	0
総数	3	3	0	2	0	1	0	2	1	0	0	0	0	3	0	0

(イ) プレコンセプションケアの普及啓発

プレコンセプションケアに対する相談について、媒体の配布等、普及啓発を行った。

普及啓発先	内 容	実績		
管内中学校、施設等	ポスター、カードを配布	チラシ	学生向け	52
			成人向け	52
		カード	学生向け	1,151
			成人向け	591

イ-1 思春期セミナー

小・中・高校の教職員等を対象に、大和・綾瀬学校保健協議会との共催で講演会を実施した。

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和7年1月20日 オンライン	困難な環境を生き抜いてきた子どもの成長を支える	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター コ・メディカル部長 青山久美氏	19

イ-2 思春期セミナー（出張講座）

思春期の生徒に対して講師を派遣し、望まない妊娠の予防等を目的とした講演を実施した。

開催年月日	会 場	講 師	参加数
令和7年2月27日	綾瀬市立綾北中学校	林間クリニック 医師 南淵芳	222
令和7年3月3日	綾瀬市立綾瀬中学校	林間クリニック 医師 南淵芳	188
令和7年3月6日	綾瀬市立城山中学校	当所 保健師	170
令和7年3月6日	綾瀬市立北の台中学校	当所 保健師	105

ウ 性と健康の健康教育

男女問わず、性と妊娠に関する正しい知識の普及を図るため、健康教育を実施した。

開催年月日	会場	対象	内 容	参加数
令和6年4月19日	大和センター	保健所実習生	大切なあなたのからだ	48
令和6年9月6日	大和センター	保健所実習生	大切なあなたのからだ	24
令和7年2月19日	南林間中学校	学校教諭	異性とのかかわりかたについて	12

(5) 望まない妊娠等に関する相談事業 (妊娠 SOS かながわ)

望まない妊娠に対する相談について、媒体の配布等、普及啓発を行った。

ア 妊娠 SOS かながわ普及啓発

普及啓発先	内 容	実績		
管内中学校、施設等	ポスター、カードを配布	ポスター		50
		チラシ	学生向け	52
			成人向け	52
		カード	学生向け	1,151
			成人向け	591

(6) 妊娠期からの児童虐待予防支援事業

児童虐待予防の体制整備のため、妊娠期養育支援連絡票の活用の状況の確認と、医療機関との連絡会を開催した。

ア 妊娠期養育支援連絡票及び養育支援結果報告票の進行管理 (令和 5 年度)

	大和市	綾瀬市	合計
妊娠期養育支援連絡票	422	45	467

イ 医療機関との連絡会

医療機関と行政が効果的に連携を図るために、産科医療機関と連絡会を開催した。

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和 6 年 7 月 22 日 大和センター・ オンライン併用	1 行政と産科医療機関との連携について 2 その他 意見交換	9

ウ 研修会及び事例検討会

開催年月日・会場	対 象	内 容	講 師	参加数
令和 6 年 9 月 5 日 大和センター	看護学生	SBS(乳幼児揺さぶられ 症候群) の予防について	当所 保健師	20

(7) 養育支援事業

発達や発育等の障害や疾病を持ち、長期に療養を必要とする児及びその保護者等が地域で健康的な生活をするために、医療・福祉・教育等の関係機関と連携し、支援を行った。

ア 訪問指導

	小児慢性特定疾病 対象児
実数	18
延数	41

イ 集団指導

(ア) 疾病・障害児等の家族会

開催年月日	教室名	内 容	参加者	
			保護者	支援者
令和6年 6月24日 オンライン	医療的ケア児 の家族交流会	・自己紹介、近況報告 ・リハビリ等について ・気持ちの持ち方について ・外出について ・今後の開催方法、日時等の希望について	3	4
令和6年 9月3日 オンライン併用	医療的ケア児 の家族交流会	・自己紹介 ・仕事との両立について ・災害時の備えについて	4	11
令和6年 12月5日 オンライン	医療的ケア児 の家族交流会	・自己紹介、近況報告 ・自分の癒しの時間の過ごし方 ・訪問看護師への質問 ・次年度について	4	10

ウ 養育困難事例検討会（再掲 5 妊娠期からの虐待予防支援事業）

開催年月日・会場	対 象	内 容	講 師	参加数
令和6年 10月31日 大和センター	管内母子保健及び要 保護児童対策地域協 議会担当保健師等	メンタル面で課題を抱 えている妊産婦と親へ の支援 ～事例検討から学ぶ～	相州病院 医師 寺岡菜穂子	10
令和7年 1月23日 大和センター	管内の分娩施設を有 する産婦人科5か所 の助産師等 管内母子保健及び要 保護児童対策地域協 議会担当保健師等	メンタル面で課題を抱 えている妊産婦の支援 と愛着形成の捉え方 ～事例検討から学ぶ～	相州病院 医師 寺岡菜穂子	10

エ 養育体制整備（研修）（厚木保健福祉事務所及びかながわ医療的ケア児支援センター・県央圏域相談センターとの合同開催）

開催年月日・会場	名 称	内 容	講師	参加数
令和6年 8月23日 オンライン	医療的ケア児 等の在宅療養 支援推進研修	医療的ケア児の 受け入れの現状 と課題	訪問看護ステーション もみじ 所長(医療的ケア 児等コーディネーター) 今堀亜紀	77
令和6年 10月30日 神奈川工科大学 KAIT TOWN 「市民・eスポーツホール」・ オンライン併用	医療的ケア児 等の在宅療養 支援推進研修	医療的ケアのある お子さんの防 災対策・災害時 の電源確保につ いて	当事者・家族 横浜重症心身障害児グル ープ連絡会～ぱざぱネッ ト～ 渡邊聡美 神奈川工科大学 臨床工学科 特任教授 山家敏彦	90

オ 養育体制整備（個別支援）

	大和市	綾瀬市	合計
作成数	3	2	5

カ 小児慢性特定疾病講演会

開催年月日・会場	名 称	内 容	講師	参加数
令和6年 10月26日 オンライン	小児慢性特定 疾病講演会	子どもの炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎とクローン病)の治療と上手な付き合い方	国立成育医療研究センター 小児内科系専門診療部消化器科診療部長 小児炎症性腸疾患センター センター長 新井勝大	12

2 健康づくり・がん対策

（１）がん検診普及啓発セミナー事業

「神奈川県がん対策推進計画」を踏まえ、管内のがん検診受診率の向上を目指し、市町村、関係団体等と協働し、地域のニーズに応じた「がん検診普及セミナー」を実施した。

また、学生や窓口来所者等に、がん検診普及啓発リーフレットを配布し、がん検診受診の必要性について周知した。

大和スポーツフェスタで大腸がんクイズラリーを実施

大腸がんクイズラリー実施数 216 件

がん検診リーフレット配布数 60 部

（２）地域企業におけるがん検診受診促進事業

がん検診受診率の向上を目指し、介護保険指定事業者等指導や特定給食施設指導事業等の開催に併せ、がん検診受診促進リーフレット並びに近郊市町村のがん検診受検内容や窓口についてのチラシを配布し、従業員やその家族の受診促進を図った。また、管内の企業に出向き、医師による健康講話を実施、あわせてリーフレットを配布した。

リーフレット配布 68 施設、574 部

管内企業での健康教育 参加者 59 名、リーフレット配布 27 部

(3) 健康増進事業の自己評価及び糖尿病重症化予防事業市町村支援

市健康増進事業及び糖尿病重症化予防事業について、評価表に基づき前年度の実施状況を確認した。

ア 健康増進事業の自己評価に係るヒアリング

開催年月日	内 容	出席者
令和 6 年 7 月 1 日	令和 6 年度健康増進事業の自己評価に係るヒアリングを実施	大和市保健師・管理栄養士 当センター 保健師・管理栄養士
令和 6 年 7 月 3 日	令和 6 年度健康増進事業の自己評価に係るヒアリングを実施	綾瀬市保健師・管理栄養士 当センター 保健師・管理栄養士

イ 糖尿病重症化予防事業に係るヒアリング

開催年月日	内 容	出席者
令和 6 年 7 月 1 日	令和 6 年度の実施結果及び事業評価、今後の取組について	大和市保健師・管理栄養士 当センター 保健師・管理栄養士
令和 6 年 7 月 3 日	令和 6 年度の実施結果及び事業評価、今後の取組について	綾瀬市保健師・管理栄養士 当センター 保健師・管理栄養士

(4) 国保保健事業市町村支援、健康づくりのためのデータ活用事業

保健医療データなどを活用し、県と市が連携して地域課題の分析や評価を行うことで、市が行う健康づくり事業について、より効果的な事業展開になるよう支援するとともに、未病改善、健康づくり施策のさらなる推進をはかるため「地区別研修」を実施した。

ア 地区別研修

開催年月日	内 容	講 師	参加数
令和 6 年 8 月 7 日	ナッジを活用した保健指導	いのち・未来戦略本部室職員	2

3 歯科保健

(1) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、厚木保健福祉事務所大和センター管内の歯及び口腔の健康づくりにかかる事項について、関係者が協議、意見交換することにより、管内における歯及び口腔の健康づくりに関する事業の効果的かつ円滑な推進を図る。

ア 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

開催年月日 会場	内 容	出席数
令和7年 1月30日 大和センター	1 議題 (1) 委員長選出 (2) 令和7年度大和センター歯科保健の取組について 2 報告 (1) 令和6年度大和センター歯科保健事業について (2) 大和センター管内における歯科保健・医療事業実施状況について (3) 神奈川県域市町村別3歳児歯科健診結果(令和元年～令和5年度) 3 その他 (1) 神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画(第2次)について	12

イ 歯及び口腔の健康づくり推進委員会小委員会

開催年月日 会場	内 容	出席数
令和6年 6月7日 大和センター	1 報告 (1) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会設置要領の改定について (2) 令和5年度歯及び口腔の健康づくり推進委員会の報告について (3) むし歯予防普及啓発リーフレットに係るアンケートの実施について 2 議題 (1) 訪問歯科保健指導のモデル試行について 3 その他 (1) 今後の予定について	6
令和6年 11月29日 大和センター	1 報告 (1) 令和6年度生活困窮家庭(生活保護世帯)幼児等の歯科保健の取組状況について 2 議題 (1) 令和6年度生活困窮家庭(生活保護世帯)幼児等の歯科保健の取組評価について (2) 令和7年度以降の生活困窮家庭(生活保護世帯)幼児等の歯科保健の取組について(資料3) 3 その他 (1) 今後の予定について	5

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業 (継続歯科検診)

重度う蝕児の減少を図ることを目的に、市の幼児歯科健診事業等と連携をとり、重度う蝕につながるリスク要因を保有している幼児を対象に、継続的な歯科検診、保健指導及び予防処置を行った。

歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数	受診者数			予防処置者数 (延)			
	初診数	再診数	総数	フッ化物	フッ化ジアンミン銀	総数	
70	90	345	435	405	3 歯まで	4 歯以上	446
					21	20	

初診の状況

把握事業名		初診者数	紹介事由										受診結果					
			う蝕の状況				生活習慣等から見たリスク要因（複数計上）						う歯の精検結果			対処分類		
う歯あり	う歯注意病変	う歯なし	不明	離乳完了の遅れ	リスク食品頻回摂取	リスク飲料頻回摂取	口含み就寝等の習慣	その他	う歯あり	う歯注意病変	う歯なし	非ハイリスク児	リスク解消児	ハイリスク児				
大和市	1歳6か月児歯科健診	49	3	6	40	0	30	11	24	0	18	6	4	39	0	1	48	
	2歳児歯科相談	4	0	2	2	0	0	3	3	1	1	0	2	2	0	1	3	
	その他	3	2	0	1	0	1	0	1	0	1	2	0	1	0	0	3	
綾瀬市	1歳6か月児歯科健診	15	0	2	13	0	10	5	11	0	2	4	1	10	0	0	15	
	2歳児歯科健診	15	0	1	14	0	2	9	9	0	4	1	4	10	0	0	15	
保健福祉事務所把握		3	0	0	3	0	1	0	0	0	3	0	1	2	0	0	3	
総数		90	6	13	71	0	44	25	45	1	31	12	9	69	0	3	87	

(3) 障害児者等歯科保健事業

ア すこやか療育歯科相談

発達の遅れや慢性疾患・障がいがある乳幼児を対象に、検診、保健指導、予防処置の実施及び管理栄養士、保健師と連携して食べ方相談を行った。

歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数	受診者数		予防処置者数（延）			
	実人員	延人員	フッ化物	フッ化ジアンミン銀		総 数
52	54	147	75	3 歯まで	4 歯以上	78
				2	1	

実施内容内訳（延件数）

歯科検診	歯科保健指導	摂食相談	栄養士相談	保健師相談
147	146	41	12	8

イ 摂食機能発達支援研修（食べる機能の講習会）

摂食機能の発達支援の理解を深め、関係機関との連携強化をはかることを目的に、保育所職員等を対象に「食べる機能の講習会」開催した。

開催年月日 会 場	内 容	講 師	参加数
令和 6 年 6 月 13 日 大和センター	子どもの食べる機能の発達と支援	昭和大学歯学部口腔衛生学講座 講師 石崎 晶子	23
令和 6 年 8 月 15 日～ 9 月 13 日 オンデマンド 開催	子どもの偏食対応と食育 ～ 家庭や施設でできる工夫 ～	ハッピー食卓プラネット代表 講師 管理栄養士 小林 浩子	124

（４）在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅で療養する障害児等の訪問による歯科検診、食べ方相談等を行った。

実施回数	訪問数（延数）
30	33

（５）歯周病予防対策事業

歯周病予防に効果的な歯間部清掃用具の正しい使用方法等について実技指導を行った。

実施回数	人 数
12	85

(6) 歯科保健普及啓発事業

全身の健康の視点に立った口腔の健康づくりの一環として、健口かながわ 5 か条 + 3 の普及を行った。

普及対象	母 子	学童・生徒	成 人	高齢者	不 明	総 数
普及人数	249	2	181	89	896	1,397

(7) オーラルフレイル健口推進員養成事業

オーラルフレイル健口推進員（*1）の養成を動画視聴研修で行うとともに、自主的な活動を円滑に実施できるよう、育成研修を行った。

*1 オーラルフレイル予防、8020 運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりを推進するため、口腔機能向上等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施する者

ア 養成研修（動画視聴研修）

実施年月日 会 場	参加者 延べ人数	参加者内訳（実人数）					
		オーラルフレイル健口推進員					その他
		健康普及員	食生活改善 推進員	介護予防 サポーター	その他	小計	
令和 6 年 10 月 31 日 大和センター	12	1	2	3	5	11	1

イ 育成研修

実施回数	参加者 延べ人数	参加者内訳（実人数）					
		オーラルフレイル健口推進員					その他
		健康普及員	食生活改善 推進員	介護予防 サポーター	その他	小計	
4	64	12	7	9	7	35	0

実施年月日 会 場	内 容	参加数
令和 6 年 6 月 28 日 大和センター	1 「人生 100 年時代～健康で生き生き過ごすために～」 講師 所内 医師 2 「笑う門には福来る～笑いと健口～」 講師 所内歯科医師 3 健口体操の実習 講師 所内歯科衛生士 4 オーラルフレイル健口推進員の活動練習	15
令和 6 年 9 月 11 日 大和センター	1 「栄養成分表示を活用しましょう」 講師 所内管理栄養士 2 「歯と口の健康」 講師 所内歯科医師 3 お口の健康チェック、ブラッシング実習 講師 所内歯科衛生士	20
令和 6 年 11 月 27 日 大和センター	1 受講修了書授与 2 「健口体操の意義と効果」 講師 所内歯科医師 3 健口体操の実習 講師 所内歯科衛生士 4 先輩オーラルフレイル健口推進員の実演披露 5 媒体作成（舌体操）	9
令和 7 年 2 月 21 日 大和センター	1 お口の健康チェック 2 講義と実技 「身体と口を動かして健康づくり！」 講師 健康運動指導士 原眞奈美 3 活動実演会～私の健口体操普及方法～	23

ウ 支援体制の整備（活動支援）

回 数	内 容	人 数
4	実施方法助言等	10

(8) フッ化物洗口普及啓発事業

永久歯のう蝕予防対策、高齢者の根面う蝕の予防対策として効果的なフッ化物洗口を普及させるため、関係機関と連携し、家庭内フッ化物洗口の情報普及を図った。

回 数	人 数
3	102

(9) 災害時歯科口腔保健対応対策事業

災害時の地域歯科口腔保健に係る体制づくりを促進するため、検討会を開催した。

開催年月日 会 場	内 容	参加数
令和 6 年 10 月 30 日 大和センター	1 本検討会の主旨 2 議題 (1) 災害時の歯科・摂食関連の備蓄品の充実について (2) 災害時の歯科・摂食関連の備蓄に関する普及啓発について 3 その他	8

(10) 人材育成

歯科衛生士学校実習生指導及び地域歯科衛生士会の活動支援を行うとともに、保健、医療、福祉の関係者等を対象に研修会を実施した。

ア 歯科衛生士学生実習指導

実施日数	人 数
2	6

イ 大和綾瀬地域歯科衛生士会（依頼対応）

開催年月日 会 場	内 容 ・ 講 師	参加数
令和 6 年 5 月 30 日 大和センター	1 「小児に多い硬組織疾患」 講師 当所歯科医師 2 「乳幼児歯科保健指導の手引きについて」 講師 当所歯科衛生士 3 グループワーク	10
令和 6 年 10 月 31 日 大和センター	1 「感染症心内膜炎」 講師 当所医師 2 大和センターからの伝達事項	10

ウ 管内市職員研修会

生活困窮家庭児の歯及び口腔の健康づくりを推進するため、市の生活保護担当部署職員を対象に歯と口腔の健康に関する研修会を行った。

開催年月日 会 場	参加数
令和 6 年 7 月 24 日 大和市保健福祉センター	26
令和 6 年 7 月 31 日 綾瀬市役所	4

エ 関係機関・団体（依頼対応）

実施年月日 会 場	内 容	人 数
令和 6 年 10 月 31 日 大和センター	難病従事者研修会 講師 当所歯科医師	21
令和 6 年 10 月 9 日 中井やまゆり園	県立福祉施設栄養士会講習会 講師 当所歯科医師	13

（11）健康教育

関係機関・地域からの依頼により健康教育を実施した。

ア 大和綾瀬地域児童相談所

開催年月日	内 容	参加数
令和 6 年 5 月 29 日	1 むし歯の原因について 2 フッ化物配合歯磨剤の使い方 3 飲み物に含まれる砂糖 4 歯みがきの方法・歯みがき実習	児童・生徒 27 職員 5 計 32
令和 6 年 7 月 24 日	1 クイズ「歯と口、飲み物に含まれる砂糖について」 2 歯並びに悪い癖 3 むし歯・歯肉炎の原因について 4 フッ化物配合歯磨剤の使い方 5 歯みがきの方法・歯みがき実習	幼児 4 児童・生徒 26 職員 7 計 37
令和 6 年 11 月 13 日	1 クイズ「ひみこの歯がいーぜ」 2 むし歯・歯肉炎の原因について 3 フッ化物配合歯磨剤の使い方 4 歯みがきの方法・歯みがき実習	幼児 4 児童・生徒 25 職員 8 計 37
令和 7 年 1 月 15 日	1 クイズ「動物の歯について」、歯並びに悪い癖 2 むし歯・歯肉炎の原因について 3 フッ化物配合歯磨剤の使い方 4 食べ物・飲み物に含まれる砂糖 5 口腔観察 6 歯みがきの方法・歯みがき実習 幼児クラス：保育士への個別相談・指導	幼児 3 児童・生徒 27 職員 7 計 37

イ 関係機関・地域

実施年月日 会 場	対 象	内 容	人 数
令和 6 年 5 月 22 日 草柳自治会館	草柳自治会 S Y ダイヤモンドサロン	歯と口の健康について	19
令和 6 年 8 月 2 日 大和市渋谷学習センター	青い鳥の会（大和綾瀬地域のダウン症親の会）	1 ダウン症児のお口の特性に関すること、摂食について 2 歯みがき実習	親 6 子 7 計 13
令和 6 年 11 月 13 日 大和センター	難病リハビリ教室	飲み込みを良くするためのリハビリ	14

（12）その他歯科検診・歯科相談等

電話や来所による歯科検診、相談等を実施した。

実施回数	実施数
8	8

（13）歯及び口腔の健康づくりに係る重点取組

むし歯リスクが高い乳幼児や障がい等のある児をもれなく支援できるよう、関係機関との連携体制の充実及び養育力が脆弱等により口腔衛生習慣の定着が困難であったり、むし歯の多発や未治療が生じやすいなど、歯科的ハイリスクになりやすい児（生活困窮家庭幼児）の歯及び口腔の健康づくりを推進した。

ア 重度う蝕ハイリスク幼児の取組

文化・生活習慣が異なる外国にルーツのある幼児のむし歯予防を図るため、大和市国際化協会との情報交換を行った。

実施日：令和 6 年 4 月 25 日

イ 障害児、慢性疾患児の歯科保健の取組

摂食機能発達支援を円滑に行えるよう、ダウン症児の会「青い鳥の会」及び療育機関と情報交換を行った。

実施年月日	機関名
令和 6 年 4 月 30 日	大和市・綾瀬市ダウン症児をもつ親の会 青い鳥の会
令和 6 年 5 月 2 日	大和市障害福祉センター 松風園
令和 6 年 5 月 31 日	綾瀬市児童発達支援センター もみの木園

ウ 生活困窮家庭（生活保護世帯）幼児等の歯科保健の取組

(ア) むし歯予防リーフレットの生活保護受給者への配付

大和市	綾瀬市	合 計
3,986 枚	680 枚	4,666 枚

(イ) リーフレット配付者を対象に、歯科保健の意識、行動変容に関するアンケートの実施

回答数：15 人

(ロ) 管内市の生活保護部署職員を対象に歯科保健研修会の実施

* 人材育成欄に掲載

(ハ) 「【ケースワーカー等職員用】確認事項と助言・対応」に関するアンケートの実施

大和市	綾瀬市	管内計
30	3	33

(ニ) 生活保護法における指定医療機関（歯科診療所）への取組周知

周知件数 131歯科診療所

(ホ) 訪問歯科保健指導

管内市の協力の下、生活保護受給世帯の児童を対象に、訪問歯科保健指導をモデル試行した。

	訪問回数	訪問人数（実）
大和市	3	6（2）
綾瀬市	3	10（4）

エ 被虐待児及び児童相談所入所児の歯科保健の取組

* 健康教育欄に掲載

4 栄養・食生活

(1) 給食施設等指導

ア 特定給食等指導事業

健康増進法等に基づき、給食施設に対して栄養管理の実施について必要な助言、指導を行うとともに、給食利用者及び従業員の健康の保持・増進及び生活習慣病予防の推進、健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進した。

(ア) 給食施設個別指導

給食施設に対し、健康増進法第 18 条第 1 項第 2 号に基づき個別に指導、助言を行った。

			管理栄養士のみの 施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみの 施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいない施設	
			施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数
指 定 施 設	学 校	01	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	02	1	1	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	04	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	05	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	06	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	07	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	1	1	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		2	2	0	0	0	0	0	0
1回300 食以上 又は1 日750 食以上 (指定 施設 を除 く)	学 校	01	8	8	4	4	1	1	0	0
	病 院	02	1	1	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	04	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	05	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	06	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	07	0	0	0	0	1	1	2	0
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		9	9	4	4	2	2	2	0
1回100 食以上 又は1 日250 食以上 (、 を除 く)	学 校	01	0	0	0	0	0	0	2	3
	病 院	02	0	0	7	7	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	2	1	3	1	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	04	5	3	7	1	0	0	0	0
	児童福祉施設	05	5	2	1	1	15	13	1	1

	社会福祉施設	06	0	0	0	0	0	0	1	1
	事業所	07	2	0	0	0	2	1	14	8
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		14	6	18	10	17	14	18	13
その他の給食施設	学 校	01	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	02	1	1	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	0	0	1	1	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	04	2	1	1	0	0	0	2	0
	児童福祉施設	05	12	6	6	4	25	14	8	5
	社会福祉施設	06	2	1	2	0	1	0	4	5
	事業所	07	2	1	0	0	1	1	9	2
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	2	0	1	0	4	3	20	3
	計		21	10	11	5	31	18	43	15

(イ) 給食施設講習会・種別講習会

給食施設の従事者及び管理者等に対し、講習会を実施し栄養管理の向上を図った。

区分	開催年月日	内 容	講 師	参 加 施設数	参 加 者 数
全体講習会	令和6年 9月19日 大和市保健福祉センター	「給食施設の衛生管理 (食中毒予防)」 「給食施設栄養管理報 告書の目的と記入」	大和センター 食品衛生監視員 管理栄養士	114	132
全体講習会	令和7年 2月4日～3月7日 オンデマンド開催	「日本人の食事 摂取 基準(2025年版)」 の活用	女子栄養大学 栄養学部 教授 上西一弘	51	83
種別講習会	令和6年 8月15日～9月13日 オンデマンド開催	子どもの偏食対応と 食育	ハッピー食卓プラネット 代表 小林浩子	32	85
種別講習会	令和7年 3月4日 大和センター オンライン併用	居宅療養者の「食」と 「生活」を支える ～介護支援専門員と管 理栄養士の連携から 実現できること～	南大和病院栄養科長 依田理恵子	13	16
種別講習会	令和7年 3月7日～3月25日 オンデマンド開催	災害発生時等に備える ～施設の状況に合わせ た対策を考えるため に～	・県央地域県政総合センター 総務部県民・防災課 職員 ・東京電力パワーグリッド株式会 社 平塚支社次長 時松誠 ・企業庁企業局総務室 総務危機管理グループ 職員 ・厚木保健福祉事務所 保健福祉課 栄養指導員	22	54
総 数				232	370

イ 栄養改善普及運動(スマイルスリー)

全事業所を対象にかながわ健康プラン21(第2次)の推進を目指し、「そろえて食べてスマイルスリー」～主食・主菜・副菜をそろえた食事～を合言葉に給食を通した健康づくりを行った。

統一標語:「そろえて食べてスマイルスリー」 ～主食・主菜・副菜をそろえた食事～

開催日	内容	対象施設数	参加施設数
令和6年8～12月 (ポピュレーション)	<ポピュレーションアプローチ事業所> ・健康づくりに関するポスターの周知	事業所 34施設 海上自衛隊 1施設	ポピュレーション 35施設
令和6年7月 16、23、30日 (ハイリスク)	コラボ給食(健康に配慮した食事)の提供		ハイリスク 2施設
令和6年9月27日 (ハイリスク)	講話「素敵な大人のための食育講座」		

対象施設の内2施設はハイリスク・ポピュレーションアプローチのいずれも実施

(2) 栄養・食生活施策の企画・運営

地域特性に応じた食環境づくりを推進し、地域における栄養・食生活対策の推進を図るとともに、情報の収集・整理及び提供のための国民健康・栄養調査を行った。

ア 地域食生活対策推進協議会

病院、施設、在宅を行き来する居宅要介護者の食生活について、在宅においても質を維持し、適切な栄養ケアができるように、介護支援専門員との食事や栄養情報共有ための方法を検討し、居宅要介護者の低栄養や疾病の重症化予防を目指した。

【協議会】

開催年月日	内 容	委員	出席数
令和 7 年 2 月 27 日	1 議事 (1) 会長選出 (2) 令和 7 年度計画 2 報告事項 令和 6 年度事業報告	医師会 学識経験者 地域活動栄養士の会 地域包括支援センター 在宅医療・介護連携支援センター 自治体職員	11

【実務担当者会議】

開催年月日	内 容	出席数
令和 6 年 5 月 23 日	1 報告事項 (1) 厚木保健福祉事務所大和センター保健福祉サービス連携調整 会議 地域食生活対策推進協議会実施要綱の改正 (2) 令和 6 年度地域食生活対策推進協議会の計画 (3) 「栄養サマリー・お食事連絡票」の活用状況把握のための発 行数調査 2 議事 (1) 「ケアマネの食事に関する困り事」の対応 ~あると便利 「食事に関する困った時の対応集」(仮称)の作成~ について (2) 栄養情報ツール「お食事連絡票」「栄養サマリー」の活用促進 の検討	11
令和 7 年 3 月 4 日	1 令和 6 年度事業報告 2 令和 7 年度事業計画 3 計画 1 「ケアマネの食事に関する困り事」の対応 ~あると便利「食事 に関する困った時の対応集」(仮称)の作成~ について 計画 2 栄養情報ツール「お食事連絡票」「栄養サマリー」の活用促進の検 討	9

イ 国民健康・栄養調査

対象地区	実施時期	対象世帯数 人数	調 査 内 容
大和市中心	令和 6 年 11 月	46 世帯 90 人	栄養摂取状況調査 身体状況調査 生活習慣調査

* 県民健康・栄養調査も併せて実施

(3) 市町村の支援

ア 管内行政等栄養士連絡会

栄養改善業務を円滑かつ効率的に実施するために連絡調整会議を行った。

開催月日	内 容	出席数
令和 6 年 8 月 29 日	1 かながわ健康プラン 2 1 (第 3 次) について 2 各部署の令和 6 年度事業進捗状況等について 3 令和 6 年度管理栄養士課程実習生の受け入れについて 4 食生活改善推進員の養成・育成について 等	10
令和 7 年 3 月 5 日	1 令和 6 年度事業の実施状況と次年度に向けて 2 かながわ健康プラン 2 1 (第 3 次) の推進について	6

イ 地域保健活動推進研修事業

食育及び栄養・食生活対策を推進する市町村及び関係機関・団体等の栄養士等を対象に研修を実施した。

開催年月日	内 容	講 師	参加数
令和 6 年 8 月 15 日 ~ 9 月 13 日 オンライン開催	子どもの偏食対応と食育	ハッピー食卓プラネット 代表 小林浩子	25

給食施設種別講習会と同時開催とした

(4) 人材育成

ア 地域活動栄養士等指導事業

地域で活動する栄養士の指導・活動支援及び県内管理栄養士養成課程の学生の指導を行った。

(ア) 地域活動栄養士指導・活動支援

区 分	開催回数	参加延人数
在宅栄養士研修	4	17
栄養士みつわ会支援	12	102

*在宅栄養士研修は再掲

(イ) 管理栄養士課程学生指導

養成施設名	コース数	学生人数	期 間
県立保健福祉大学	1	3	令和6年5月20日～4月24日
鎌倉女子大学	1	3	令和6年6月10日～6月14日
神奈川工科大学	1	3	令和6年9月9日～9月13日
関東学院大学	1	3	令和7年2月3日～2月7日
相模女子大学	1	3	令和7年2月25日～2月28日

イ 食生活改善推進員リーダーの育成

食生活改善推進団体「なごみ会」等が組織的に活動を展開できるように、リーダーの育成指導を行うとともに、資質向上のための研修会への支援を行った。

指導回数	延 人 数
26	298

(5) 専門的栄養指導・食生活支援事業

ア 専門的栄養相談

疾病を有する患者に対して、病状や生活状況に応じた個別相談を行った。

	難病	ハイリスク児	その他	計
相談件数	0	2	1	3

イ 集団講習会

開催年月日	内 容	講 師	人 数
令和6年 10月30日	「神経難病患者への効果的な支援」 ～嚥下障害へのリハビリとケア・食事のコツ～ 摂食嚥下障害～食事のとり方～	大和センター 管理栄養士	22

ウ 食生活支援担当者研修会

地域で食生活支援に係わる医療や福祉、職域等の関係者を対象に研修を行った。

開催年月日	内 容	講 師	参加数
令和7年 2月4日 ～3月7日 オンデマンド開催	日本人の食事摂取基準 (2025年版) ～改訂ポイントと給食施設におけ る活用上の留意点～	女子栄養大学 栄養学部 教授 上西 一弘	25
令和7年 3月7日 ～3月25日 オンデマンド開催	災害発生時等に備える ～施設の状況に合わせた対策を 考えるために～	・県央地域県政総合センター 総務部県民・防災課 職員 ・東京電力パワーグリッド株式会社 平塚支社次長 時松 誠 ・企業庁企業局総務室 総務危機管理グループ 職員 ・厚木保健福祉事務所 保健福祉課 栄養指導員	8
令和7年 3月4日 大和センター オンライン併用	居宅療養者の「食」と「生活」を 支える ～介護支援専門員と管理栄養士の 連携から実現できること～	南大和病院 栄養科 科長 依田 恵理子南大和クリニ ック居宅介護支援事業所	18

(6) 栄養表示等普及啓発及び活用推進事業

食品製造業者に対し、適正な栄養表示方法を指導するとともに、消費者に健康保持・増進及び生活習慣病予防を目的として、栄養表示の活用について普及・啓発を行った。

ア 普及啓発講習会

対 象	回 数	内 容	人 数
消費者	1	食生活改善推進員養成講座(大和市)	35
	1	食生活改善推進員養成講座(綾瀬市)	5
	1	オーラルフレイル推進員研修	20
総 数	3		

イ 事業者に対する表示適正化指導

		健康増進法			食品表示法			総数
		特別 用途 食品	特定 保健用 食品	虚偽 誇大 表示	栄養 成分 表示	栄養 機能 食品	機能性 表示 食品	
事前相談・指導	件数				2			2
	延回数				2			2
適正化指導 (改善指導)	件数							
	延回数							

5 小児慢性特定疾患医療費助成

対象となる疾病にかかっており、厚生労働大臣が定める疾病の程度である 18 歳未満の児童等に対し、医療費の一部を助成した。(18 歳到達時点で認定されており、引き続き治療が必要と認められる場合は、20 歳未満まで継続可能)

ア 小児慢性特定疾病医療費助成 (16 疾患群、788 疾病)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
	悪性 性新 生 物	慢 性 腎 疾 患	慢 性 呼 吸 器 疾 患	慢 性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先 天 性 代 謝 異 常	血 液 疾 患	免 疫 疾 患	神 経 ・ 筋 疾 患	慢 性 消 化 器 疾 患	を 伴 う 症 候 群 染 色 体 又 は 遺 伝 子 に 変 化	皮 膚 疾 患 群	骨 系 統 疾 患	脈 管 系 疾 患	総 数
大和市	29	6	3	30	15	6	15	6	8	1	23	20	2	2	2	2	170
綾瀬市	12	1	1	15	4	7	3	3	4	1	4	8	0	1	0	0	64
総数	41	7	4	45	19	13	18	9	12	2	27	28	2	3	2	2	234

(重複あり)

6 母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業

母子・父子・寡婦家庭の生活安定と経済的自立の促進、児童の健全な育成を図るために必要な母子・父子・寡婦福祉資金の貸付の決定を行った。

		事業 開始	事業 継続	技能 習得	就職 支度	住宅	転宅	医療 介護	生活	修学	就学 支度	修業	結婚	総数
大和市	母子			1					1	1	3			6
	父子									1				1
	寡婦													
綾瀬市	母子			2					3	8	9	1		23
	父子									1	2			3
	寡婦													

7 介護保険

(1) 介護保険指定事業者等指導

介護保険制度の円滑な推進を図るために、管内に事業所を有する介護保険事業所のうち施設及び居宅サービスの医療系サービスが含まれる事業所に対して、厚木保健福祉事務所の実施指導に当所の専門職（保健師・栄養士）が同行し、指導を実施した。

区 分		大和市		綾瀬市		合計	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防
居宅サービス	訪問介護						
	訪問看護	3	3			3	3
	通所介護			1		1	
	通所リハビリテーション						
	短期入所生活介護			1	1	1	1
	短期入所療養介護						
	特定施設入居者生活介護			1	1	1	1
	計	3	3	3	2	6	5
介護保険施設	介護老人福祉施設			1		1	
	介護老人保健施設						
	計			1		1	
合 計		3	3	4	2	7	5

* 担当分の事業所を計上。

.

第4章 保健予防業務

保健予防業務は、地域住民の健康を守り、また、増進を図るため、感染症・結核等の予防対策、エイズの相談検査、精神保健福祉、認知症高齢者対策、難病の相談事業等を行っている。

1 精神保健福祉

地域におけるこころの健康の保持増進及び精神疾患の早期発見、早期治療や病気の再発防止に努めるとともに、精神保健福祉の関係団体との連携を図り、家族会、事業所、断酒会などの活動について支援した。また、管内市町村とともに自殺対策事業を実施した。

(1) 精神保健福祉相談事業(精神保健福祉相談及び訪問)

精神科嘱託医及び精神保健福祉担当職員が、心の健康や精神疾患に関する相談等について、本人や家族、関係者からの相談に応じ、必要な援助を行った。

ア 把握区分

区 分	人 員		相 談 ・ 訪 問 数 (延)	
	実 人 員	延 人 員	新 規	年 度 再
相 談	370	1,856	265	1,591
訪 問	67	171	3	168

イ 相談性別・年齢

区 分	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0 ～ 9	10 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	80～	不明
実人員	155	204	11	0	20	41	46	56	78	27	34	21	47
延人員	753	1,090	13	0	63	222	226	465	490	190	78	59	63

ウ 訪問性別・年齢

区 分	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0 ～ 9	10 ～ 19	20 ～ 29	30 ～ 39	40 ～ 49	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	80～	不明
実人員	26	41	0	0	4	7	11	15	18	7	4	1	0
延人員	82	89	0	0	6	11	17	38	40	44	11	4	0

エ 担当者（複数対応のため延人員より多くなる）

区 分	総 数	医 師	福祉職	保健師	その他職員
相 談	1,889	31	1,853	5	0
訪 問	179	6	171	0	2

オ 相談・訪問契機

区 分	実人員	本 人	家 族	医療機関	市町村	警 察	教育機関	相談支援 事業所	その他
相 談	370	95	91	23	57	15	4	7	78
訪 問	67	10	4	23	14	8	0	0	8

カ 相談種別

区 分	延 人 員	治療の問題	生活の問題	社会参加の問題	心の健康問題	そ の 他
相 談	1,856	1,050	593	30	112	71
訪 問	171	84	71	8	4	4

キ 診断名

区 分	実 人 数	器 質 性 精 神 障 害	ア ル コ ー ル に よ る 障 害	覚 せい 剤 等 他 の 薬 物	統 合 失 調 症	気 分 障 害	ス ト レ ス 関 連 障 害	生 理 的 障 害 等	成 人 の 人 格 ・ 行 動 障 害	精 神 遅 滞	心 理 的 発 達 の 障 害	小 児 期 ・ 青 年 期 の 障 害	て ん か ん	診 断 保 留	精 神 障 害 と 認 め ず	未 受 診	不 明
相 談	370	9	6	3	80	54	16	2	2	6	15	0	1	0	8	84	84
訪 問	67	0	0	2	27	9	3	0	0	2	2	0	0	2	2	11	7

ク 相談者

区 分	延 人 員	本 人	家 族	医療機関	市 町 村	そ の 他
相 談	1,948	350	390	460	323	425
訪 問	332	132	38	67	46	49

(2) 団体等支援

地域の精神保健福祉活動が円滑に進むよう市や関係団体との連携を図った。

団 体		回数	援助内容
ア 精神障害者家族会	大和さくら会（大和市）	2	総会出席、定例会
	あがむの会（綾瀬市）	2	総会出席、定例会
イ 断酒会	大和つくし断酒会	1	酒害相談員研修会
	矢崎断酒の会	0	
ウ 障害者総合支援法サービス事業等		5	ネットワーク会議
エ 当事者団体、精神保健ボランティア団体等		5	交流会
オ 市自立支援協議会	大和市精神保健福祉連絡会	9	会議
	綾瀬市精神分野連絡会	3	会議及びケース検討会

(3) 普及啓発

精神疾患の正しい理解とその対応について、管内医療機関精神科医による講演を行った。

開催年月日・会場	名 称	内 容・ 講 師	参加者
令和6年11月18日 大和センター	精 神 障 害 者 家 族 教 室	「こころの病気とその理解」 大船中央クリニック医師 平木克弘	30

(4) 精神保健福祉業務

ア 医療保護事務（進達件数）

	件 数	計
医 療 保 護 入 院 届	198	570
医 療 保 護 入 院 退 院 届	213	
医 療 保 護 入 院 更 新 届	159	

イ 精神科病院実地指導・実地審査

(ア) 実地指導

精神保健福祉法に基づき、管内の精神科病院に人権に配慮した適切な入院処遇などの指導を行った。

施 設 数	実施件数	実施日
1	1	令和7年1月9日（定期）

(イ) 実地審査

精神保健福祉法に基づき、管内精神科病院および管内の住民が入院する精神科病院の入院患者の入院形態の審査を行った。

施 設 数	審査 患者数	審 査 結 果								
		措置入院			医療保護入院			任意入院		
		要措置	措置 不要	継続	継続	移行	入院 不要	継続	移行	入院 不要
(定期) 1	6			1	4			1		
(新規) 0	0									

ウ 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく精神保健診察の申請、通報に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行った。(夜間・休日対応を除く)

	受理 件数	調査 件数	精 神 保 健 診 察 結 果				
			要措置	不 要 措 置			
				入 院	入院外	不実施	取下げ
法 23 条	58	11	31	0	3	23	1

(5) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進

精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進を目指し、地域精神保健福祉連絡協議会及び実務担当者会議、精神保健福祉ケース会議を開催し、関係機関・団体との連携を図った。

ア 地域精神保健福祉連絡協議会

開催年月日・会場	内 容	委 員	出席数
令和7年1月29日 大和センター	1 報告 (1)令和6年度大和センター精神保健福祉事業報告 (2)精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築、推進 実務担当者会議 サポーター活用に係るワーキンググループ (3)地域自殺対策事業の取組 2 議題 (1)令和7年度大和センター精神保健福祉事業計画 (2)大和センター地域自殺対策検討会の設置について	管内精神科病院、地域援助事業者、当事者・家族関係団体、学識経験者、社会福祉協議会、行政職員	25

イ 実務担当者会議

開催年月日・会場	会議名	内 容	出席数
令和6年5月20日 大和センター	第1回実務担当者会議	管内2市及び精神病院との連絡会関係機関役割分担、連携	16
令和6年10月22日 大和センター	第2回実務担当者会議	管内2市及び精神病院との連絡会関係機関役割分担、連携	12

ウ 精神保健福祉ケース会議

開催年月日・会場	会議名	内 容	出席数
令和6年6月13日 大和センター	第1回ケース会議	精神保健福祉事例検討	18
令和6年10月3日 大和センター	第2回ケース会議	精神保健福祉事例検討	13
令和7年1月16日 大和センター	第3回ケース会議	精神保健福祉事例検討	10

エ ピアサポート活用に係る冊子作成（ワーキンググループ）

開催年月日	内 容	出席数
令和6年6月10日	インタビュー結果のまとめ、報告書作成	7
令和6年8月19日	インタビュー結果のまとめ、報告書作成	7
令和6年10月21日	インタビュー結果のまとめ、報告書作成	6
令和6年12月6日	第2回精神保健福祉地域包括ケアシステム会議	39

オ 措置入院者等退院後支援

ガイドラインに基づいて、措置入院者等に支援計画作成に関する同意を得た上で退院後支援を行った。（計画作成の同意がない場合も法第47条に基づく支援を行った）

措置入院者数	計画作成同意	計画作成	支援実施数
31	5	4	30

カ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム関係者等に対する研修への企画協力

(主催：県障害福祉課、運営：公益社団法人かながわ福祉サービス振興会)

開催年月日・会場	内 容	講師	出席数
令和7年2月19日 オンライン	A C T (包括型地域生活支援プログラム)から学ぶアウトリーチを中心にしたチームの作り方	メンタルヘルス診療所 しっぽふぁーれ 院長 伊藤順一郎	31

(6) 地域自殺対策事業

地域の自殺の特性について分析し課題を検討するとともに、自殺未遂者の支援困難ケースの対応を検討し、支援関係機関との連携を図った。また、普及啓発活動等を行った。

ア 会議等

開催年月日・会場	会 議 名	対 象	助言者	出席数
令和6年10月11日 大和センター	自殺未遂者 支援検討会	地域援助事業者、行政職員	大和病院 医師 清水茜	13
令和7年1月29日 大和センター	自殺対策検討会	管内精神科病院、地域援助事業者、 当事者・家族関係団体、学識経験者、 社会福祉協議会、行政職員	大和病院副院長 長 荒川文雄	25

イ 普及啓発

取組年月日	内 容
令和6年9月1日～9月30日	自殺予防週間、自殺予防月間に合わせた関連ポスターの掲示 自死遺族の会案内リーフレット等を配架
令和7年3月1日～3月31日	

ウ ゲートキーパー養成研修

開催年月日	内 容	対 象	参加数	備考
令和6年度	ゲートキーパー養成研修	保健師実習生	11	
令和6年11月18日	大和市ゲートキーパー養成講座	大和市民	30	大和市主催
令和7年1月16日	綾瀬市新採用職員フォロー研修	新採用職員	26	綾瀬市主催

エ 自殺未遂者支援研修会

自殺対策事業への取組、未遂者支援への質的向上を図った。

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和6年9月18日 大和センター	こころといのちをまもる対策推進事業 研修会「アルコールの問題と向きあう」	女性サポートセンター Indah 施設長 小嶋陽子 (アルコール依存症当事者)	12

(7) 医療観察法に基づく支援

保護観察所との連携、ケア会議への出席等

内 容	対象者	回数
医療観察法対象者ケア会議等	3	11

(8) 入院者訪問支援事業

入院者訪問支援事業の運営状況の把握

内 容	回数
入院者訪問支援事業実務担当国会議出席	2

(9) 企画連絡会議

精神保健福祉関連業務の計画等について、精神保健福祉センターとの調整、企画を行った。

開催年月日	内 容	出席数
令和 7 年 3 月 6 日	精神保健福祉関連事業の実施状況等	6

2 認知症対策

認知症予防対策を効果的に推進するため実施した。

(1) 認知症相談・訪問・支援事業

専門的相談を行い、認知症疾患に対する知識と理解を深め適切な医療と療養生活ができるよう支援した。

ア 相談事業

(ア) 保健師等の随時相談 (訪問事業を除く) (件)

実 人 員	対象		相談方法			内容（延数）							
	新規	継続	電話	面接	文書等	疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院入所	サ ー ビ ス 介 護 保 険	その他	合計
51	25	26	38	12	1	18	22	22	7	8	5	43	125

(イ) 専門医の定例相談 (件)

実 人 員	対象		相談方法				内容（延数）							
	新規	継続	電話	面接	文書等	訪問	疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院入所	介護保険 サービス	その他	合計
8	8	0	0	5	0	3	6	4	4	4	0	3	8	29

イ 訪問事業

(件)

区 分	性別			年齢別					
	男	女	計	50 ～ 59	60 ～ 69	70 ～ 79	80 ～ 89	90～	合計
実人員	2	2	4	1	2	0	1	0	4
延人員	2	13	15	1	13	0	1	0	15

ウ 支援事業 認知症サポーター養成講座

開催年月日	回数	対象	参加者数
令和 6 年 4 月 19 日	1	看護学生	49
令和 6 年 9 月 6 日	1	看護学生	24
計	2		73

(2) 普及啓発事業

かながわオレンジ大使による本人発信活動や地域の実情を踏まえ、普及啓発等を実施した。

開催年月日・会場	内 容 ・ 講 師	対 象	出席数
令和 6 年 10 月 31 日 三機工業株式会社 三機テクノセンター	認知症研修 「すぐに役立つ 認知症の理解と予防」 ～あなたの生活が変わります～ 大和センター医師	三機テクノセンタ ー従業員	33

(3) 専門職派遣事業

認知症施策に関わっている関係機関の従事者研修を開催した。

ア 認知症初期集中支援チーム員会議

開催年月日	出席数
令和 6 年 4 月 25 日	6
令和 6 年 1 月 16 日	5
令和 6 年 3 月 27 日	7

イ 従事者研修

開催年月日・会場	内 容 ・ 講 師	対 象	出席数
令和 6 年 8 月 29 日 大和センター	認知症講演 清川遠寿病院病院長 岩元誠 認知症困難事例のグループディスカッション	管内地域包括支援 センター、行政職員	24

(4) ネットワーク構築事業

認知症施策市町村担当者会議・認知症等行方不明 SOS ネットワーク担当者会議を開催した。

開催年月日・会場	内 容 ・ 講 師	対 象	出席数
令和6年2月6日 大和センター	1 講演「MCI～正しい理解と効果的なアプローチ～」たなかクリニック 院長 田中千彦 2 情報交換 「認知症患者に関する相談への対応状況」 3 令和6年度厚木保健福祉事務所大和センター 認知症対策事業報告 4 認知症等行方不明 SOS ネットワーク活動 報告	管内地域包括支援センター、大和警察署、医療機関、行政職員	33

3 感染症予防対策

感染症の発生状況を的確に把握・分析し、情報提供することにより、感染症の発生及びまん延を防止することを目的に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、「感染法」という)に基づき行われる国の「感染症発生動向調査」の円滑な推進に取り組んだ。

また、感染症が発生した場合には、感染症患者、病原体保有者及びその接触者を対象に疫学調査を実施し、感染症のまん延の防止に努めた。

(1) 感染症発生動向調査

ア 1・2類感染症(結核は除く)発生届受理数

発生なし

イ 3・4・5類感染症発生届受理数

感染症類型	疾病名	件数
3類	細菌性赤痢	2
	腸管出血性大腸菌感染症	5
4類	レジオネラ症	1
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4
	水痘(入院例)	3
	梅毒	20
	播種性クリプトコックス症	1
	百日咳	2

(2) インフルエンザ施設別発生状況調査

本調査は、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校において休校、学年閉鎖、学級閉鎖があった場合に、その施設数を計上するとともに、当該措置を取る直前の学校、学年、学級における在籍者数、患者数、欠席者数を計上したものである。

	令和 6 年 9 月 2 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日報告分					
	休 校 数	学年閉鎖 学 校 数	学級閉鎖 学 校 数	在籍者数	患 者 数	うち欠席者数
保 育 所	0	0	0	0	0	0
幼 稚 園	0	0	0	0	0	0
小 学 校	0	0	23	793	168	146
中 学 校	0	0	8	461	93	72
高 等 学 校	0	0	2	76	20	19
計	0	0	33	1,330	281	237

(3) 感染症診査協議会

感染症法で施行する就業制限や入院勧告は人権を尊重する観点から必要最小限に行われるべきもので、その実施には慎重な判断が求められるため、同法第 24 条では保健所に感染症の診査に関して学問的、専門的及び法律的な観点から協議する第三者機関の設置が義務付けられている。

厚木保健福祉事務所感染症診査協議会就業制限諮問件数（結核を除く）

感染症類型	疾病名	件数
3 類	細菌性赤痢	1
	腸管出血性大腸菌感染症	5

(4) 感染症対策会議

感染症対策について、関係機関と連携したまん延防止と迅速かつ適切な対応に向けた情報の共有や地域医療体制及び患者支援体制の整備を行うため会議を実施した。新型インフルエンザ等地域医療体制会議と合同開催した。

開催年月日	内 容	対 象	出席数
令和 6 年 12 月 23 日 大和センター・ オンライン併用	1 管内の感染症発生状況について 2 最近の感染症の動向について	管内医師会・歯科医師会・ 薬剤師会・管内病院・管内 市町村担当課・消防本部・ 警察署・県関係機関	10 名

(5) 蚊の生息調査 デング熱やジカウイルス感染症など蚊媒介感染症対策の一環として実施

調査期間	調査場所	方 法	結 果
令和 6 年 6 月 ~ 10 月 月 1 回	引地台公園	トラップ(二酸化炭素による 誘引)にて蚊を捕獲	ウイルスを保有する蚊の発見なし

(6) 感染症予防教育

開催年月日・会場	内 容	講 師	出 席 数
令和 6 年 10 月 2 日 オンライン	【地域における感染症対策研修・訓練】 薬剤耐性菌研修	横浜市立大学附属病院感染制御部長 加藤英明	当所管内及び厚木管内医療従事者 41 名
令和 6 年 10 月 4 日 大和センター	従事者研修 ノロウイルス中心に実技演習を含む	大和センター医師及び保健師、感染管理加算 1 医療機関の感染管理看護師	当所管内の認可保育所及び認可外保育所の従事者 21 名
令和 6 年 11 月 12 日 大和センター	N95 マスクフィットテスト研修会	株式会社モレーンコーポレーション	大和市役所、綾瀬市役所、当所の感染症関連事業従事職員 14 名
令和 6 年 6 月 21 日 ロゼホームつきみ野	感染症研修会 標準予防策、疾患別対策等	大和センター医師及び保健師	ロゼホームつきみ野職員 57 名
令和 6 年 11 月 22 日 介護老人保健施設大地	感染症研修会 標準予防策、疾患別対策等	大和センター医師及び保健師	介護老人保健施設大地職員 約 30 名

(7) 患者発生に伴う指導・相談

ア 感染症相談

(件)

	計	新型コロナウイルス感染症	腸管出血性大腸菌感染症	麻疹(疑い含む)	インフルエンザ	感染性胃腸炎	侵襲性髄膜炎菌感染症	その他
電話・面接	435	160	59	13	34	13	21	156
訪 問	13	4	4	0	2	0	0	3

イ 患者(疑い例含む)及び接触者調査等積極的疫学調査実施状況

感染症分類	調査件数	検査人数	
		患 者	接 触 者
三類感染症	12	7	14
四類感染症	2	1	0
五類感染症	8	4	1
計	22	12	15

ウ 施設等での感染症集団発生時の指導

施設等で患者(疑いを含む)が発生し拡大傾向の場合に、集団発生として保健所へ施設長から報告があったものに対し、状況を確認し感染防止策の指導を行った。

(件)

	新型コロナ ウイルス感染症	インフルエンザ	感染性胃腸炎	その他	計
高齢者施設	44	0	2	0	46
障害者施設	3	0	1	0	4
保 育 所	0	5	3	2	10
幼稚園・学校	0	1	0	0	1
医 療 機 関	7	2	0	0	9

4 エイズ（性感染症）予防

エイズの正しい知識の普及・啓発を図るため、講演会を実施した。また、無料・匿名のエイズ検査、梅毒検査を原則火曜日に開催した。

（１）エイズ相談・検査（含む梅毒検査）

エイズ予防のため健康相談と血液検査を実施した。

検査実施日 39 回

ア 令和 6 年度エイズ相談・検査実施状況

HIV 抗原抗体同時検査（第 4 世代通常検査）を実施した。 * 臨時検査を含む。 (件)

年 度	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年 / 令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
相 談	463	343	305	194	184	161	156	282	122	110
検 査	* 136	* 110	* 107	* 98	86	82	80	138	90	93

イ 令和 6 年度エイズ検査（性・年齢別）実施状況

(件)

	総 数	0～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
男	67	2	19	18	5	12	11
女	26	2	15	3	1	5	0

ウ 令和 6 年度梅毒検査実施状況

(件)

年 度	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年 / 令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
検 査	130	107	101	98	85	82	80	134	85	93

(2) エイズ予防普及事業

青少年エイズ・性感染症予防講演

実施年月日	実施校名 (学年)	講 師	参加数
令和 6 年 11 月 7 日	神奈川県立綾瀬高等学校 (1 年生)	林間クリニック産婦人科 医師 南淵芳	328
令和 6 年 12 月 3 日	大和商業高等専修学校 (1 年生)	大和センター 医師	84

5 結核予防

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断及び患者指導を実施し、結核予防に努めた。

(1) 結核患者発生に伴う健康診断

ア 接触者健康診断・管理検診

患者が感染させた疑いがある接触者に健診を実施し、感染者の発症予防と発症者や感染源の早期発見に努めた。結核治療終了後必要な患者に検診を実施し、再発の早期発見に努めた。

区 分	対象数 (実数)	受 診 者(延数)		受 診 結 果 (実 数)		
		当 所	医療機関 *	要医療	経過観察	異常なし
接触者健康診断	74	73	4	8	1	68
管 理 検 診	0		0	0	0	0

区 分	直接撮影 (医療機関)	ツベルクリン反応検査		IGRA 検査		喀痰検査
		当 所	医療機関 *	当所 (QFT)	医療機関 * (QFT・T-spot)	
接触者健康診断	4	0	4 (延 4)	70 (延 73)	4 (延 4)	0
管 理 検 診	0					

* 受診券を発行し委託医療機関に受診した数

イ 外国籍県民結核健康診断事業

開催年月日	内 容	出席数
——	実施なし	—

(2) 結核患者発生に伴う患者指導

ア 服薬支援事業

結核患者が確実に抗結核薬を服用することにより、結核のまん延防止と、多剤耐性結核の発生を予防するために、D O T S (Directly Observed Therapy 直接服薬確認療法) を実施した。

訪問延件数	所内面接延件数	電話延件数	合計件数
116 件	66 件	138 件	320 件

イ DOTSカンファレンス

結核治療が必要な患者に対し、服薬終了まで支援するために、各地区担当保健師で支援方法等について検討した。

実施回数	対象延件数
12 回	316 件

ウ 定期病状調査

結核終了後の経過観察者の適切な患者管理のために、医療機関へ定期病状調査を実施した。

調査件数
2 件

(3) 結核患者の登録・管理

ア 登録患者数

(ア) 年末現在登録患者数 (受療状況別)

		総 数	活 動 性 結 核				不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	* 潜 在 性 結 核 感 染 症 (別掲)
			肺 結 核 活 動 性			肺外 結核 活動性			
			登録時 喀痰塗 抹陽性	登録時 その他の 結核菌 陽性	登録時 菌陰性・ その他				
令和 5 年		59	7	6	1	1	10	34	18
令和 6 年総数		57	4	4	0	3	8	38	19
受療別 (総数)	入 院 中	3	2	1	0	0	0	0	0
	外来治療中	9	1	3	0	2	0	2	14
	治 療 な し	42	1	0	0	0	8	33	5
	不 明	3	0	0	0	0	0	3	0
受療別 (大和市)	入 院 中	3	2	1	0	0	0	0	0
	外来治療中	7	0	3	0	2	0	2	11
	治 療 な し	31	1	0	0	0	5	25	5
	不 明	3	0	0	0	0	0	3	0
受療別 (綾瀬市)	入 院 中	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来治療中	2	1	0	0	1	0	0	3
	治 療 な し	11	0	0	0	0	3	8	0
	不 明	0	0	0	0	0	0	0	0

* 潜在性結核感染症について : 「結核医療の基準について (平成 21 年 1 月 23 日健感発第 0123005 号) 」により潜在性結核感染症の検査法や治療を規定。

(イ) 年末現在登録患者数 (年齢別)

	総 数	活 動 性 結 核				不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	* 潜 在 性 結 核 感 染 症 (別 掲)
		肺 結 核 活 動 性			肺外 結核 活動性			
		登録時 喀痰塗 抹陽性	登録時 その他の 結核菌 陽性	登録時 菌陰性・ その他				
総数(令和 6 年末)	57	4	4	0	3	8	38	19
0 ～ 9 歳	1	0	0	0	0	1	0	4
10 ～ 19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20 ～ 29 歳	9	1	3	0	0	1	4	2
30 ～ 39 歳	12	0	0	0	1	1	10	9
40 ～ 49 歳	9	1	1	0	1	0	6	0
50 ～ 59 歳	4	0	0	0	0	1	3	3
60 ～ 69 歳	6	0	0	0	1	1	4	0
70 ～ 79 歳	4	1	0	0	0	1	2	1
80 ～ 89 歳	6	1	0	0	0	1	4	0
90 歳 ～	6	0	0	0	0	1	5	0

イ 新登録患者数 (令和5年・6年)

	総 数	活 動 性 結 核				* 潜在性 結 核 感染症 (別 掲)
		肺結核活動性			肺外結核 活動性	
		喀痰塗抹 陽 性	その他の 結核菌陽性	菌陰性・ その他		
令和 5 年	22	10	7	1	4	10
令和 6 年総数	24	7	9	3	5	17
0 ～ 9 歳	0	0	0	0	0	2
10 ～ 19 歳	0	0	0	0	0	1
20 ～ 29 歳	6	1	4	1	0	3
30 ～ 39 歳	4	1	1	1	1	7
40 ～ 49 歳	2	0	1	0	1	1
50 ～ 59 歳	2	1	0	0	1	2
60 ～ 69 歳	3	0	1	1	1	0
70 ～ 79 歳	2	2	0	0	0	1
80 ～ 89 歳	4	2	2	0	0	0
90 歳 ～	1	0	0	0	1	0

(4) 厚木保健福祉事務所感染症診査協議会(結核部会)

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第24条の規定に基づき、申告に係る必要な事項を審議するため設置され、委員6名で組織されている。(昭和61年4月から厚木保健福祉事務所内に設置)

ア 開催回数 24回

イ 大和センター申請分医療費公費負担診査件数（令和6年）

	総数	37条申請	37条の2申請							
			小計	被用者保険		国民保険		後期高齢者	生活保護	その他
				本人	家族	一般	退職者			
申請件数 (総数)	94	32	62	25	8	14	0	10	3	2
医療内容 承認	88	31	57	24	8	13		7	3	2
公費負担 不承認	4	1	3					3		
公費負担保留	2		2	1		1				

（５）結核医療従事者研修事業等研修会

実施年月日	内 容	講 師	参加数
——	大和センター主催での実施なし	——	—

6 指定難病等対策

原因が不明で治療が未確立の難病のうち、国の指定した疾病により治療を受けた者に対し、医療費公費負担申請事務の手続きを行った。平成27年1月からは「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行された。対象疾患は現在341疾患になっている。

保健所として、指定難病患者に対し、医療費助成手続き等の支援を行う。難病患者及びその家族に対し、在宅療養を支援するため、保健師による相談や家庭訪問、訪問相談・支援事業(訪問リハビリ相談)による個別支援を行い、医療相談事業(相談会、講演会、リハビリ教室、患者と家族のつどい等)による集団の支援を行う。

また、関係機関と連携し、難病の方も地域で暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向け難病委員会を開催する。

（１）特定医療費（指定難病）医療援護

特定医療費支給認定申請状況

新規申請数	329件
更新申請者数	2,138件

(2) 保健師活動 (家庭訪問・所内相談・電話対応・文書)

	区 分	総 数	神経系	膠原病	消化器系	血液系	循環器
家 庭 訪 問	実件数	41	38	3	0	0	0
	延件数	155	150	5	0	0	0

所 内 相 談	区 分	総 数	面接	電 話	文 書
	延件数	3,617	2,498	1,089	30

(3) 難病患者地域支援対策推進事業 (旧難病患者地域支援ネットワーク事業)

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

開催年月日・会場	内 容	出席者	出席数
令和6年8月5日 大和センター・ オンライン併用	事例検討「一人暮らしのALS患者への療養支援について」 ～病状、療養場所と支援の方向性について	ケース関係者(医療・障害・介護の支援者、当事者、職場、行政職員)	11 名
令和6年12月9日 大和センター	事例検討「一人暮らしのALS患者への療養支援について」 ～病状の進行に伴う支援調整、療養場所と支援の方向性について	ケース関係者、東海大学医学部看護学科講師 石原孝子	17 名

イ 訪問相談員育成事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

開催年月日・会場	内 容	相 談 員	相談数
令和6年5月 ～令和7年3月 10回 難病患者宅	訪問相談員による相談	大和センター 保健師	実 6 件 延 12 件

(イ) 訪問相談員育成事業 (在宅難病患者等保健福祉従事者研修会)

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和6年10月30日 大和センター	神経難病患者への効果的な支援 ～嚥下障害のリハビリとケア・食事のコツ～	大和センター 歯科医師・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、歯科衛生士、管理栄養士	20 名
令和6年12月17日 居宅サービスセンター泉正園・ オンライン併用	難病について～支援制度、各論 (パーキンソン病) ～	大和センター 保健師	24 名

ウ 医療相談等事業

(ア) 難病相談会

開催年月日・会場	内 容	相 談 員	回 数
令和 6 年 6 月～7 月 大和センター	更新申請時の医療相談	大和センター 保健師、 事務職	29 回

(イ) 難病講演会

開催年月日・会場	内 容	講師・助言者	参加数
令和 6 年 10 月 2 日 大和センター・ オンライン併用	膠原病との上手な付き合い方～病気と治療の 理解、最近の話題まで～ 「変わりつつある膠原病治療(診療)について」	北里大学病院 リウマチ膠原・ 感染内科 准教 授 奥健志	25 名

(ウ) 難病リハビリ教室(難病ふれあい教室)(対象者：主に神経系難病等の患者及び家族)

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和 6 年 10 月 16 日 大和センター	自宅でできるリハビリ第 1 回 座ってできる転びにくくなる リハビリ、 呼吸を楽にするリハビリ	訪問看護リハビリステーション ケアフォレスト大和 理学療法 士・呼吸療法認定士 中島活弥	19 名
令和 6 年 11 月 13 日 大和センター	自宅でできるリハビリ第 2 回 座ってできる転びにくくなる リハビリ、 飲み込みを良くするリハビリ	訪問看護リハビリステーション ケアフォレスト大和 理学療法 士・呼吸療法認定士 中島活弥、 大和センター 歯科医師・摂食リ ハビリテーション認定士	20 名

(エ) 難病患者と家族のつどい(対象者：対象疾患患者及び家族)

開催年月日・会場	内 容	助 言 者	参加数
令和 6 年 10 月 2 日 大和センター・ オンライン併用	膠原病患者交流会 (講演会に続き開催)	北里大学病院リウマチ膠原病・感染内 科 准教授 奥健志、 全国膠原病友の会神奈川支部 支部長 後藤真理子、大和センター職員	18 名

エ 訪問相談・指導事業

開催年月日・会場	内 容	相 談 員	相談数
令和 6 年 4 月 17 日 6 月 19 日 9 月 18 日 12 月 4 日 難病患者宅	訪問リハビリ 相談	社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション 事業団 地域リハビリテーション支援センター 理学療法士 有馬一伸、作業療法士 吉澤拓 也、ソーシャルワーカー 小川淳	5 件

(4) 難病地域対策協議会 (難病委員会)

関係機関と連携し、難病の方も地域で暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向け委員会を開催する。

開催年月日・会場	内 容	委 員	出席数
令和 7 年 1 月 20 日 大和センター	1 報告 (1) 特定医療費受給者証交付状況 (2) 令和 6 年度大和センター難病対策事業実施状況 (3) 難病患者支援対象者及び災害時要援護者の支援状況 (4) かながわ難病相談・支援センター活動状況 2 議題 (1) 令和 7 年度大和センター難病対策事業実施計画 (2) 難病の方が地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築について～災害時の難病患者の支援、地域資源の活用等～	管内医師会、管内地域包括支援センター代表者、かながわ難病相談・支援センター、学識経験者、行政職員	18 名

(5) 在宅難病患者受け入れ病床確保事業

開催年月日	内 容	対 象 患 者	利用数
随 時	難病患者の在宅生活を支えているご家族などの介護者が、自身の病気や事故などの理由により一時的に介護ができなくなった場合に、患者が県内の協力病院に短期間の入院をすることができる	・神奈川県内(横浜市、川崎市および相模原市を除く)に在住し、神奈川県指定難病医療受給者証が発行されている ・医療機器の装着や医療処置が常時必要 ・症状が安定している	0

7 臓器移植対策事業

血液難病患者にとって有効な治療である骨髄移植を推進するため、骨髄ドナー登録窓口を設置した。

開 催 回 数	登 録 者 数
5 回	1 人

8 原爆被爆者援護対策

本県では、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（被爆者援護法）」に基づき、被爆者及び被爆者のこどもに対する保健、医療及び福祉にわたる総合的な援護対策を行っている。

被爆者健康手帳や被爆者のこども健康診断受診証の交付や各種手当等の支給に係る申請手続き経由事務を行うとともに、年２回の定期健康診断を実施した。

（１）被爆者健康手帳等の交付

援護者援護申請手続き関係経由事務受付実績

【単位：件】

ア 被爆者健康手帳関係 被爆者健康手帳再交付申請	1
イ 各種手当 健康管理手当認定申請 医療特別手当証書再交付申請 葬祭料支給申請	1 1 7
ウ 医療 一般疾病医療費支給申請（本人受領） 被爆者一般疾病医療機関指定申請	7 1
エ 福祉 訪問介護利用被爆者助成受給者資格認定申請	1
オ その他の事業 はり・きゅう・マッサージ施術費補助申請	2
カ 被爆者のこども関係 被爆者のこどもの医療費支給申請 被爆者のこどもの健康診断受診証交付、再交付申請	24 4
キ 届出	11
計	60

（２）被爆者健康診断

受診状況

	総 数	被爆者	特例受診		被爆者のこども	要精検者	要治療者
			1 種	2 種			
令和３年度	4	2			2	2	
令和４年度	4	1			3	0	
令和５年度	4	1			3	0	
令和６年度	4	0			4	2	

9 肝臓疾患相談事業

C型及びB型肝炎ウイルス検査を実施し、検査の普及を図るとともに、肝臓疾患患者や家族に対し、医療及び日常生活に係わる相談指導、助言を行い、病状悪化及び感染拡大の防止を図った。

(1) C型及びB型肝炎ウイルス検査

	所内（受診人数）	委託医療機関（受診人数）
C型肝炎ウイルス検査	5	0
B型肝炎ウイルス検査	5	0

(2) 肝炎治療医療費助成

神奈川県肝炎治療医療給付実施要綱に基づき、C型及びB型の肝炎ウイルスのインターフェロン治療、B型肝炎ウイルスの核酸アナログ製剤治療、C型ウイルス性肝炎のインターフェロンフリー治療を行う者に対して、医療給付等の申請について県への経由事務を行った。

区分	肝炎治療医療費助成申請件数
交 付 申 請	168
そ の 他	10

10 石綿による健康被害の救済支援事業

石綿（アスベスト）に工作中に接触した労働者だけでなく、持ち帰った石綿を吸い込んだ家族や施設周辺に居住していた住民なども長い潜伏期間を経て中皮腫や肺がん等を発症することがある。当所では、石綿健康被害救済法（平成18年施行）により、労災補償の対象とならない方を対象に独立行政法人環境再生保全機構で行う医療費等の救済給付を支給する「石綿健康被害救済制度」の申請に係る受付・経由事務を行っている。

【相談対応実績】

石綿による健康被害に関する電話やメールによる次の相談に対応した。

相談件数	相談内容
4	・「石綿健康被害救済制度」利用に関する相談 ・労災補償の対象となる可能性の高いケースに関する相談 ・石綿健康診断を実施している医療機関の情報に関する問合せ

申請受付実績はなし

第 5 章 環境衛生・薬事関係業務

環境衛生・薬事関係業務は、快適な生活環境を確保するため、環境衛生営業施設の監視指導及び浄化槽等の維持管理指導を行っている。

また、犬・猫等の適正な飼養のため、飼養者に対して助言、指導を行い、動物愛護思想の普及、啓発を図っている。

さらに、医薬品等の品質及び安全性を確保するため、薬局等の監視指導を行っている。

1 環境衛生営業施設指導

(1) 生活衛生営業施設数及び監視指導

多数の人が利用する理容所・美容所・クリーニング所・旅館等の生活衛生営業施設の許認可事務及び監視指導、住宅宿泊事業法に基づく届出受理及び施設指導を実施した。

	施設数	市別施設数内訳		許可 (確認) 件数	廃止 件数	監視指導 件数
		大和市	綾瀬市			
理容所	171	130	41	4	10	45
美容所	473	394	79	21	26	118
クリーニング所	97	69	28	2	12	40
旅館	14	13	1			3
興行場	3	2	1			4
公衆浴場	19	16	3		3	17
住宅宿泊事業	10	9	1	5		15
総数	787	633	154	32	51	242

(2) 生活衛生営業施設衛生講習会

理容組合及び美容組合が主催する衛生講習会に講師を派遣し、衛生教育を実施した。

対象業種	開催年月日	場所	受講者数
理容所 美容所	令和7年2月4日	大和商工会議所会議室	79

(3) 水浴場施設数及び監視指導

一般に開放するプールに対し、衛生管理の徹底と事故を防止するため、監視指導を実施した。

		施設数	市別施設数内訳		監視指導 件数
			大和市	綾瀬市	
プー ル	営 業	8	7	1	14
	学 校	29	14	15	22
	総 数	37	21	16	36

2 生活環境施設指導

(1) 建築物衛生対策

ア 施設数及び監視指導

特定建築物における衛生的環境を確保するため、立入検査を実施した。

	施設数	市別施設数内訳		監視指導 件数
		大和市	綾瀬市	
興 行 場	1		1	
集 会 場	1	1		
図 書 館	1	1		1
店 舗	27	22	5	
事 務 所	17	14	3	1
学 校	10	6	4	
総 数	57	44	13	3

イ 建築物衛生管理業営業所数及び監視指導

建築物衛生管理業の登録営業所について、監視指導を行い、ビルの衛生管理の推進に努めた。

	登録 営業所数	市別施設数内訳		監視指導 件数
		大 和 市	綾 瀬 市	
建 築 物 清 掃 業	7	6	1	1
建築物空気環境測定業	2	1	1	1
建築物飲料水水質検査業	1	1		
建築物飲料水貯水槽清掃業	17	15	2	2
建築物排水管清掃業	3	3		
建築物ねずみ・昆虫等防除業	3	2	1	2
建築物環境衛生総合管理業	1	1		
総 数	34	29	5	6

(2) 浄化槽指導監督

ア 浄化槽設置基数及び監督指導

浄化槽設置届の受理及び立入検査等を実施し、設置者等に対し、浄化槽の適正な維持管理を指導した。

	設 置 基 数	市 別 内 訳		監視指導件数
		大 和 市	綾 瀬 市	
501人槽以上	3	1	2	3
500人槽以下	4,648	2,412	2,236	12
総 数	4,651	2,413	2,238	15

イ 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導

浄化槽保守点検業者に対し、監視指導を実施し、浄化槽の適正な維持管理の推進に努めた。

登 録 業 者 数	登録営業所数	監視指導件数
36	10	1

(3) 家庭用品衛生対策

有害物質を含有する家庭用品による健康被害の発生を防止するため、4年に1回、家庭用品の試買検査を実施している。令和6年度は実施しなかった。

(4) 住まいと環境衛生推進事業

健康で快適な住環境の確保を図るため、衛生害虫や室内環境に係る相談に対応した。

相 談 件 数
30

3 温泉施設指導

源泉及び温泉利用施設に対し、監視指導を実施した。

	施設数	市別施設数内訳		監視指導件数
		大和市	綾瀬市	
源泉	1	1		1
利用施設	3	2	1	

4 動物保護

(1) 飼えなくなった犬、猫の引取り状況

飼えなくなった、飼い犬・飼い猫の引取りを実施した。

	頭数	市別内訳	
		大和市	綾瀬市
犬	0		
猫	5	4	1
総数	5	4	1

(2) こう傷事故の発生状況

犬によるこう傷事故について調査し、飼い主に対し、飼育管理等の指導を実施することにより事故の再発防止に努めた。

	総数	市別内訳	
		大和市	綾瀬市
件数	21	15	6

(3) 犬、猫の苦情相談等の状況

動物愛護センターと連携して、犬、猫の適正な飼い方について指導等を実施した。

	件数
犬	35
猫	24
その他	4
総数	63

5 薬事衛生施設指導

(1) 薬局等施設数及び監視指導

薬局・医薬品販売業等に対し、立入検査を実施し、医薬品等の適正な取扱い及び管理について指導を行い、その有効性・安全性の確保に努めた。

ア 薬局・医薬品販売業等施設数

		施設数	市別施設数内訳		監視指導 件数	違反件数
			大和市	綾瀬市		
薬局		143	121	22	103	
医薬品販売業	店舗販売業	63	47	16	26	
	卸売販売業	21	17	4	8	
薬局医薬品製造・製造販売業		16	16		16	
医療機器販売業・貸与業		1,033	866	167	333	
再生医療等製品販売業		1	1			
認定薬局		8	6	2	14	
総数		1,285	1,074	211	500	0

イ 薬局等事務取扱い件数

		総数	新規申請	更新申請	変更届	廃止届	その他の届出
薬局		765	11	20	644	5	85
医薬品販売業	店舗販売業	207	5	8	190	2	2
	卸売販売業	16	5		10		1
薬局医薬品製造・製造販売業		15	2	6	2	2	3
医療機器販売業・貸与業		366	64	22	255	24	1
再生医療等製品販売業							
認定薬局		21		8	11	2	
総数		1,390	87	64	1,112	35	92

(2) 医薬品等製造施設数及び監視指導

医薬品等の製造業等に対し、立入検査を実施し、医薬品等の適正な製造管理について指導を実施した。

	施設数	監視指導 件数
医薬品製造業	4	
医薬部外品製造業	6	2
化粧品製造業	7	2
医療機器製造業	10	
医療機器修理業	8	1
総数	35	5

(3) 毒物劇物販売業等監視指導

ア 毒物劇物販売業等施設数及び監視指導

毒物劇物等による危害又は事故の発生を未然に防止するため、毒物劇物営業者等に対し、立入検査を実施し、毒物劇物等の適正な取扱い・保管・事故防止の徹底に努めた。

		施 設 数	市 別 施 設 数 内 訳		監視指導 件数	違反件数
			大 和 市	綾 瀬 市		
毒物劇物販売業	一 般	74	51	23	28	
	農業用品目	4	3	1	2	
	特 定 品 目	4	3	1		
毒 物 劇 物 製 造 業		8	3	5	3	
毒 物 劇 物 輸 入 業		3	2	1		
業 務 上 取 扱 者 (届 出)		6	5	1	2	
業 務 上 取 扱 者 (非 届 出)					1	1
特 定 毒 物 研 究 者		1	1			
総 数		100	68	32	36	1

イ 毒物劇物販売業等事務取扱い件数

		総 数	新規申請	更新申請	変更届	廃止届	その他の届出
毒物劇物販売業	一 般	39	6	10	2	4	17
	農業用品目	4		2			2
	特 定 品 目	1					1
業 務 上 取 扱 者		3			3		
総 数		47	6	12	5	4	20

(4) 麻薬取扱い施設指導

ア 麻薬取扱い施設数及び監視実施

麻薬を取扱う施設に対し、適正な使用・管理の徹底について指導を実施した。

	麻薬 小売業者	麻薬診療施設		総 数
		病 院	診療所	
施 設 数	106	9	82	197
立 入 検 査 数	94	16	2	112

イ 麻薬取扱者免許事務取扱い件数

	新規申請	継続申請	廃止届	総 数
麻薬取扱者	42	73	18	133

(5) 薬物乱用防止対策

麻薬・覚醒剤・大麻等の薬物乱用の根絶を図るため、薬物乱用防止活動の推進に努めた。

ア 薬物乱用防止推進地域連絡会の開催

警察署や薬物乱用防止指導員協議会等関係機関・団体と連携し効果的な啓発活動の一層の推進を図るため、薬物乱用防止推進地域連絡会を開催した。

開催年月日	場 所	議 題
令和7年3月6日	大和センター	・管内で発生した薬物事犯について ・神奈川県における薬物乱用防止対策の実施状況と最近の薬物事情について ・来年度事業の実施予定について

イ 薬物乱用防止啓発活動

神奈川県薬物乱用防止指導員協議会大和・綾瀬支部と、薬物乱用防止推進地域連絡会構成団体・機関と協力し、薬物乱用防止街頭キャンペーンを実施した。

開催年月日	場 所	参加者数	リーフレット等配布数
令和6年5月11日	大和駅南改札口付近 大和駅北改札口付近	15	1,000 セット
令和6年7月4日	大和オークシティ	60	500 セット
令和6年11月1日	綾瀬タウンヒルズ 綾瀬市役所ロビー	40	500 セット

啓発活動内容

幟旗の設置及び啓発資材（リーフレット、クリアファイル、ふせん、テープのり、ボールペン、ウェットティッシュ、絆創膏）の配布を行い、薬物乱用防止を呼び掛けた。

.

第6章 食品衛生業務

食品衛生業務は主として、食品等に起因する事故を防止するため、営業施設に対する監視指導、食品の検査、衛生教育等を行っている。

1 食品営業施設の監視指導

飲食店営業、食品製造業及び大規模小売店等食品関係施設に対し、許認可及び監視指導を実施した。

(1) - 1 旧食品衛生法に基づく許可営業(令和3年5月31日までに許可を受けた施設)

	地 区 別 施 設 数				許可取扱数		廃業件数	監視指導 件 数
	総数	大和市	綾瀬市	移動営業	継 続	新 規		
飲 食 店 営 業	927	761	151	15			194	153
菓 子 製 造 業	69	49	16	4			18	34
乳 処 理 業	1		1					3
特 別 牛 乳 搾 取 処 理 業								
乳 製 品 製 造 業	2		2					5
集 乳 業								
魚 介 類 販 売 業	15	14	1				6	27
魚 介 類 競 り 売 り 営 業								
魚 肉 練 り 製 品 製 造 業	1	1						
食品の冷凍又は冷蔵業	3	2	1					4
缶詰又は瓶詰食品製造業	1		1				1	
喫 茶 店 営 業	17	12	4	1			5	2
あ ん 類 製 造 業								
アイスクリーム類製造業	1	1						
食 肉 処 理 業	7	4	3					1
食 肉 販 売 業	16	14	2				7	26
食 肉 製 品 製 造 業	2	1	1					3
乳 酸 菌 飲 料 製 造 業	1		1					2
食 用 油 脂 製 造 業							1	
マーガリン又はショートニング製造業								
み そ 製 造 業								
し ょ う ゆ 製 造 業								
ソ ー ス 類 製 造 業								
酒 類 製 造 業								
豆 腐 製 造 業	1	1						
納 豆 製 造 業								
麺 類 製 造 業								
そ う ざ い 製 造 業	15	8	7				3	4
添 加 物 製 造 業	1	1						
食品の放射線照射業								
清 涼 飲 料 水 製 造 業	2		2					5
氷 雪 製 造 業								
合 計	1,082	869	193	20	0	0	235	269

(1) - 2 改正食品衛生法に基づく許可営業 (令和 3 年 6 月 1 日以降に許可を受けた施設)

	地 区 別 施 設 数				許可取扱数		廃業件数	監視指導 件 数
	総数	大和市	綾瀬市	移動営業	継 続	新 規		
飲 食 店 営 業	1,510	1,134	165	211		382	61	643
調理の機能を有する自動販売機	10	6	4			2	1	3
食 肉 販 売 業	30	19	11			8		30
魚 介 類 販 売 業	36	26	10			10	1	33
魚介類競り売り営業								
集 乳 業								
乳 処 理 業								
特別牛乳搾取処理業								
食 肉 処 理 業	7	6	1			1		4
食品の放射線照射業								
菓 子 製 造 業	120	83	34	3		29	4	64
アイスクリーム類製造業	2	2						2
乳 製 品 製 造 業	3	3						4
清 涼 飲 料 水 製 造 業	3	2	1			1		2
食 肉 製 品 製 造 業	6	3	3					10
水 産 製 品 製 造 業	2	2				1		1
氷 雪 製 造 業								
液 卵 製 造 業								
食 用 油 脂 製 造 業	1		1					
みそ又はしょうゆ製造業	3		3					
酒 類 製 造 業	1		1					
豆 腐 製 造 業	3	2	1					2
納 豆 製 造 業								
麺 類 製 造 業								
そ う ざ い 製 造 業	32	24	8			7	2	10
複合型そうざい製造業	4	2	2					7
冷 凍 食 品 製 造 業								
複合型冷凍食品製造業								
漬 物 製 造 業	12	5	7			6	1	7
密封包装食品製造業	6	3	3			1		2
食 品 の 小 分 け 業	6	2	4			4		5
添 加 物 製 造 業	1		1					0
合 計	1,798	1,324	260	214	0	452	70	829

(1) - 3 届出を要する営業

		地区別施設数				監視指導 件数
		総数	大和市	綾瀬市	移動営業	
旧許可業種で あった営業	魚介類販売業 (包装済みの魚介類のみの販売)	9	7	2		
	食肉販売業 (包装済みの食肉のみの販売)	43	28	15		4
	乳類販売業	60	42	18		7
	氷雪販売業	2	2			
	コップ式自動販売機 (自動洗浄・屋内設置)	231	169	62		1
販売業	弁当販売業	8	5	3		1
	野菜果物販売業	35	24	10	1	3
	米穀類販売業	8	6	2		
	通信販売・訪問販売による 販売業	8	5	3		
	コンビニエンスストア	155	114	41		46
	百貨店、総合スーパー	76	57	19		67
	自動販売機による販売業 (コップ式自動販売機(自動洗 浄・屋内設置)を除く。)	202	151	51		9
	その他の食料・飲料販売業	221	172	45	4	38
製造・加工業	添加物製造・加工業(法第13条 第1項の規定により規格が定め られた添加物の製造を除く。)					
	いわゆる健康食品の製造・加工業	5	3	2		
	コーヒー製造・加工業 (飲料の製造を除く。)	20	16	3	1	7
	農産保存食料品製造・加工業	1		1		
	調味料製造・加工業	5	4	1		1
	糖類製造・加工業					
	精穀・製粉業	2	1	1		
	製茶業	6	5	1		4
	海藻製造・加工業	2	2			1
	卵選別包装業	3		3		
	その他の食料品製造・加工業	33	12	18	3	12
上記以外のもの	行商	1			1	
	集団給食施設	150	115	35		72
	器具、容器包装の製造・加工業 (合成樹脂が使用された器具又 は容器包装の製造、加工に限る。)	5	2	3		1
	露店、仮設店舗等における飲食の 提供のうち、営業とみなされない もの					52
	その他	7		7		2
合 計		1,298	942	346	10	328

令和3年6月1日から届出業種に移行した営業

(2) 食品等の検査

違反食品、不良食品等を排除するため、管内で製造又は流通する食品について、計画的に収去検査を実施した。

	収去検体数	不適検体数	不 適 内 訳	
			理 化 学	細 菌
鮮 魚 介 類				
冷 凍 食 品	3	0		
魚 介 類 加 工 品				
肉 卵 類 及 び そ の 加 工 品	18	0		
乳	1	0		
乳 製 品				
乳 類 加 工 品				
アイスクリーム類・氷菓				
穀 類 及 び そ の 加 工 品				
野 菜 ・ 果 物 及 び そ の 加 工 品	7	0		
菓 子 類	11	0		
清 涼 飲 料 水	10	0		
缶 詰 ・ 瓶 詰 食 品	9	0		
そ の 他 の 食 品	6	0		
添加物（化学的合成品）				
器 具 ・ 容 器 包 装	3	0		
合 計	68	0		

(3) 食品関係等の苦情処理

消費者から寄せられた食品等に係わる苦情相談に対して、迅速、適確な処理に努めた。

	件数	異物混入	かび	腐敗変敗	異味異臭	不衛生	容器包装不良	有症苦情	その他
乳・乳製品・乳類加工品	2		1					1	
魚介類及びその加工品	5				1			4	
肉・卵類及びその加工品	10	3						5	2
穀類及びその加工品	2	1						1	
野菜類(豆類を含む)及びその加工品	2	2							
菓 子 類	1								1
そ の 他 の 食 品	13	4			3		1	3	2
不 明	7							7	
施設に関するもの	25					21			4
合 計	67	10	1	0	4	21	1	21	9

(4) 食中毒対応

患者から寄せられた食品等に係わる健康被害に対して、迅速、適確な処理に努めた。

発生年月日	喫食者数	患者数	病因物質
令和6年8月25日	5	1	アニサキス

(5) 免許取扱事務

	申 請 内 容				届 出	総 数
	申 請	書 換	再交付	名簿登録削除	返 納	
調 理 師	37	6	12	1		56
製菓衛生師	12					12
ふぐ包丁師						0
合 計	49	6	12	1	0	68

2 自主衛生管理の推進

(1) 食品衛生関係団体に対する指導・支援

食品衛生指導員が行う巡回指導事業等に対して、適宜指導・支援を実施した。

(2) 食品衛生責任者講習会

営業者の自主管理の推進を目的に、食中毒予防・危機管理・食品衛生について講習会を開催した。また、動画視聴によるeラーニング版の講習会も実施した。

	開催年月日	講習会内容	受講者数
1	令和6年4月10日	露店営業者等講習会	61
2	6月18日	食品衛生指導員研修会	19
3	7月12日	露店営業者等講習会	20
4	9月19日	特定給食施設等講習会	94
5	10月3日	食品衛生指導員研修会	23
6	10月3日	露店営業者等講習会	15
7	令和7年2月19日	食品衛生指導員研修会	11
8	2月27日	食品衛生責任者講習会	94
9	3月5日	食品衛生責任者講習会	37
合 計			374

3 食品衛生知識の普及啓発

(1) 消費者等を対象とした食品衛生講習会

	開催年月日	講習会内容	受講者数
1	令和6年6月13日	大和市食生活改善推進員養成講座	32
2	令和6年9月5日	綾瀬市食生活改善推進員養成講座	5
合 計			37

(2) 食中毒予防キャンペーン等

・大和市、綾瀬市、大和商工会議所、綾瀬市商工会の後援を得て、食中毒の発生しやすい時期に大和食品衛生協会と共催により大和駅前等4か所で食中毒予防キャンペーンを実施した。

開催日：令和6年8月7日

・8月1ヶ月間を食品衛生月間とし、当センターに「夏期・食品総点検実施中」の看板及び食中毒予防ののぼり旗を設置した。さらに大和市の放映媒体として駅等3ヶ所に設置されたデジタルサイネージを利用し、食中毒予防について広報活動を行った。

第7章 研究発表等

令和 6 年度学会等発表

第 70 回 神奈川県公衆衛生学会

開催年月日	テーマ	場 所
令和6年11月26日	海外の接触者健診後に結核を発病した外国出生児への保健所の関わり 八木下しのぶ 奥田久美子 小寺里佳 山本茅聖 佐々木摂子 西海昇	TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜西口 カン ファレンスルーム

第 46 回（令和 6 年度）地域保健師研究発表会

開催年月日	テーマ	場 所
令和6年12月18日	1 外国語を話す結核患者に対する英語表記の疫学調査票等作成の試み～結核蔓延防止に向けて～ 山本茅聖 杉山真理 小寺里佳 奥田久美子 八木下しのぶ 佐々木摂子 西海昇 2 大規模災害のための全階層保健師対象研修の企画について 大関佳奈波 宮崎晃子 3 小児慢性特定疾病の申請時面接から見える保健福祉事務所の保健師の役割について 石井友紀 山下慶子 宮崎晃子	神奈川県開発支援センター 研修ホール

大和市：綾瀬市



令和6年度

厚木保健福祉事務所大和センター年報

発 行 日	令和7年10月
発 行 者	神奈川県厚木保健福祉事務所大和センター 〒242-0021 大和市中心1-5-26
編集責任者	神奈川県厚木保健福祉事務所大和センター 所長 西海 昇 電 話 046 (261) 2948 (代) FAX 046 (261) 7129

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e7a/kanrikaku/R6nenpo.html>

* 本年報は上記ホームページに掲載しています



神奈川県

厚木保健福祉事務所大和センター

大和市中央 1-5-26 〒242-0021 電話(046)261-2948(代表)

FAX(046)261-7129